

県内の交通事故の現状

鹿児島県警察本部交通部
交通企画課統計分析係

－ 2025.3 －

目次

1	県内の交通事故の推移（過去 10 年間）
2	四輪車乗車中の死傷者の状況について
3	二輪車乗車中の死傷者の状況について
4	自転車乗用中の死傷者の状況について
4－1	自転車乗用中死傷者のヘルメット着用状況について
5	歩行中死傷者の状況について
5－1	歩行中死傷者の状況について（高齢者）
6	こどもの事故の状況について
7	反射材着用状況について
8	後部座席シートベルトの着用状況について
9	携帯電話等使用に係る交通事故について
10	高齢運転者事故（第1当一般原付以上）の状況について
11	飲酒運転事故（第1当一般原付以上）の状況について

1 県内の交通事故の推移（過去10年間）

- 発生件数、負傷者数は前年に比べ減少したものの、死者は増加（図1）
- 状態別では、死者、死傷者ともに自動車乗車中が最も多い。（図2、図3）
- 高齢死者は、平成15年以降、22年連続で死者の過半数を占め、令和6年中の高齢死者は死者全体の約60.4%を占める。（図4）
- 第1当高齢運転者による人身事故の構成率は、過去10年間で緩やかに増加し、令和6年中の構成率は約30.9%を占め、交通死亡事故の構成率は約36.5%を占める。（図5）

図1 発生件数、負傷者数、死者数の推移

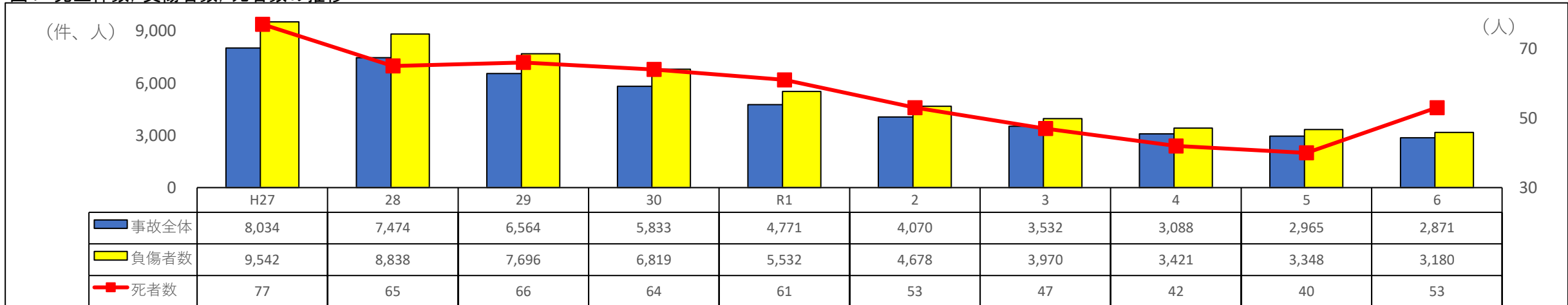


図2 状態別死者数(R6)

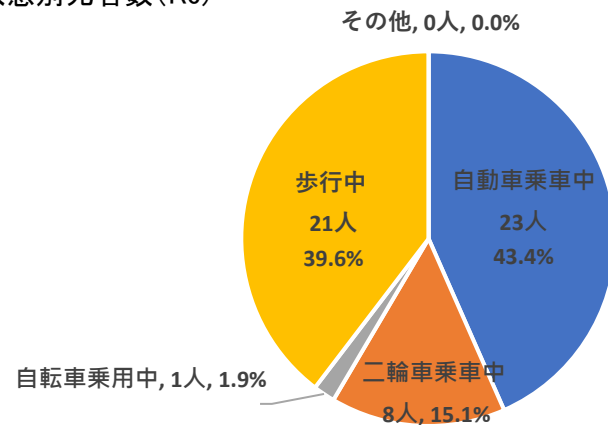


図3 状態別死傷者数(R6)

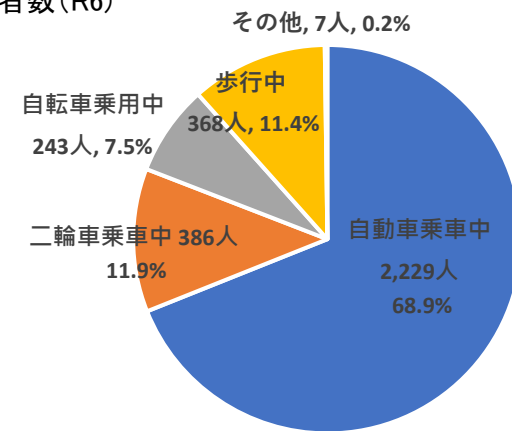


図4 死者全体に占める高齢死者の構成率の推移

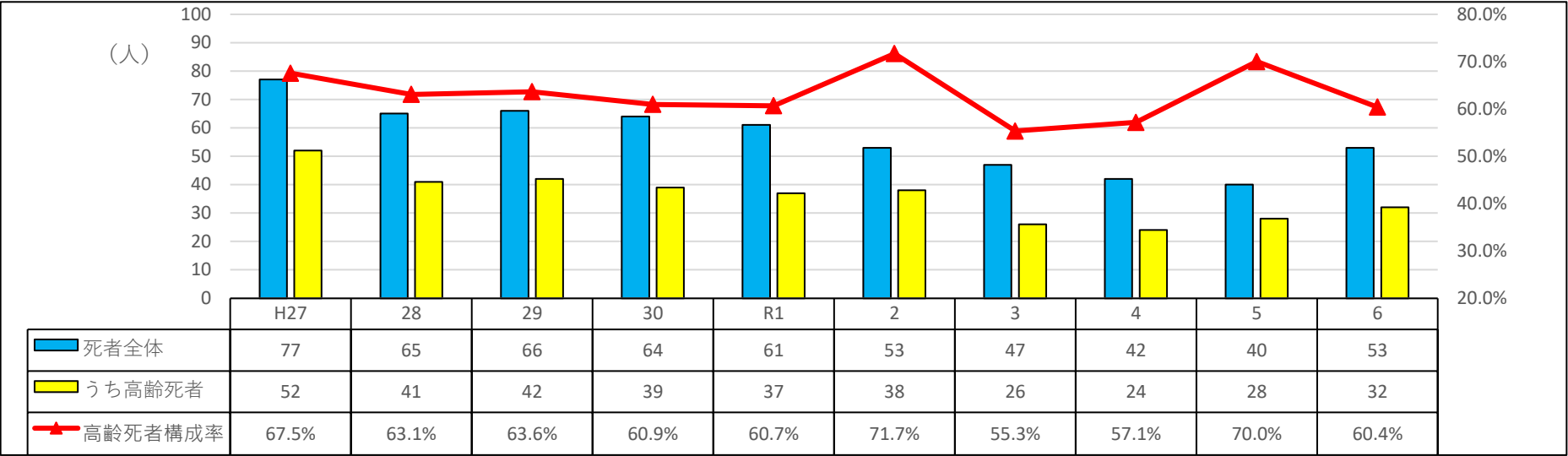
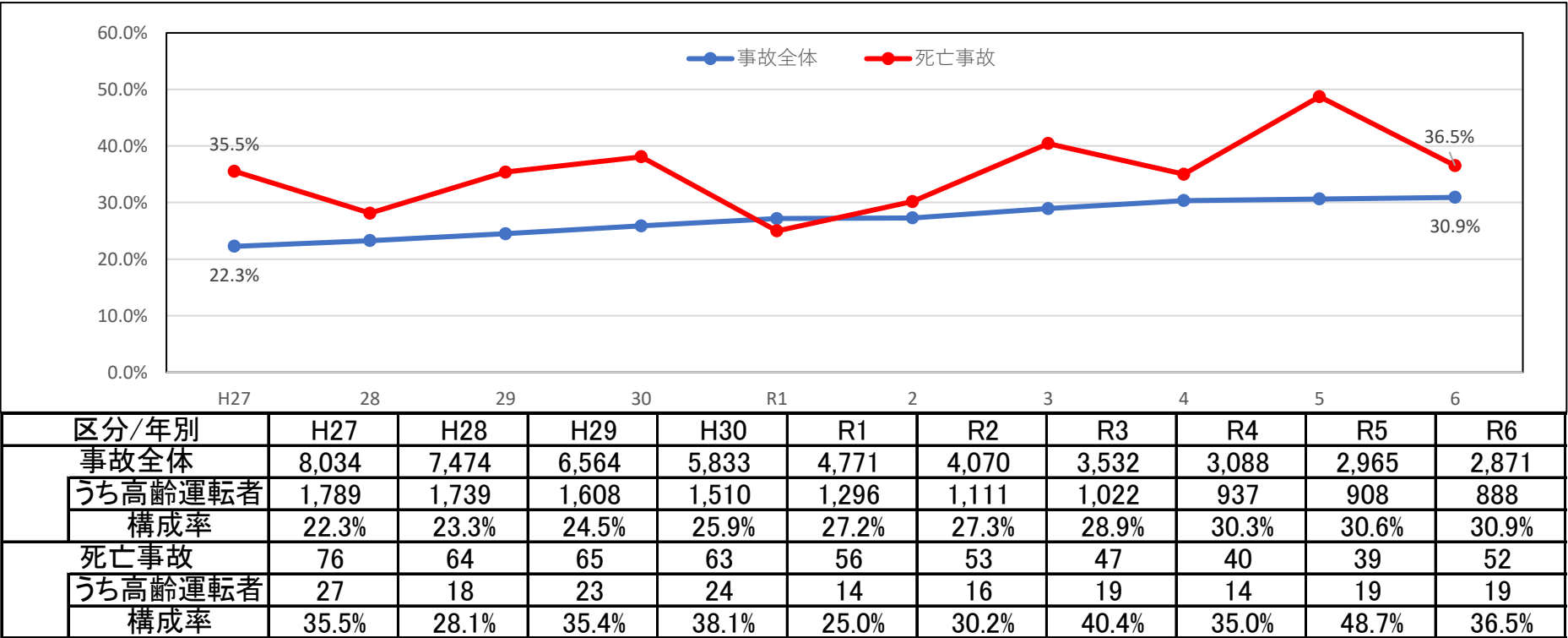


図5 第1当高齢運転者による構成率の推移



2 四輪車乗車中の死傷者の状況について

- 死傷者数は前年より減少したものの、死者数は増加（図1）
- 年代別の死傷者は**40歳代が最も多く**、次いで**30歳代**が多い（図2）
- 時間帯別の死傷者は**16～17時台が最も多く**、次いで**8～9時台**が多い（図3）

図1

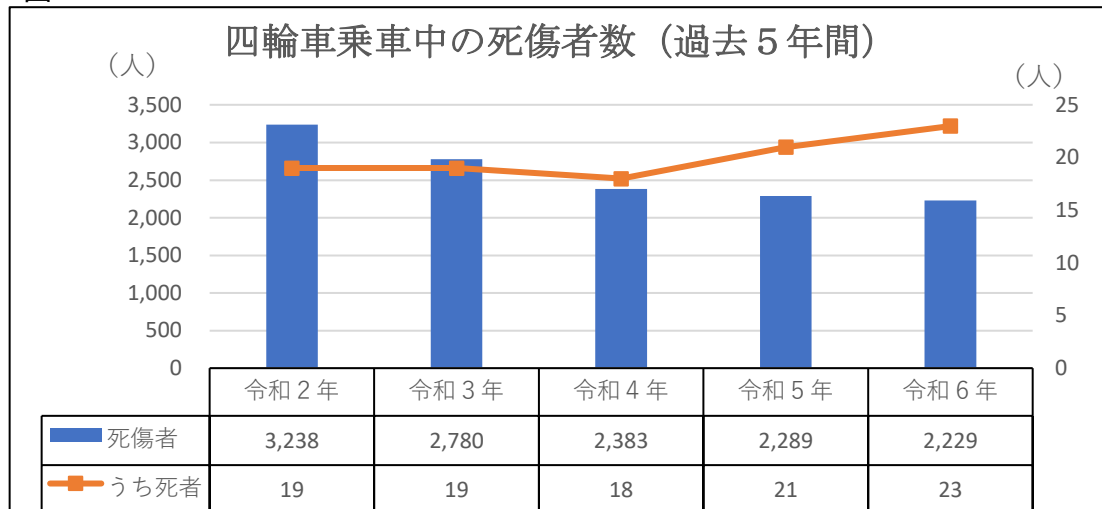


図2

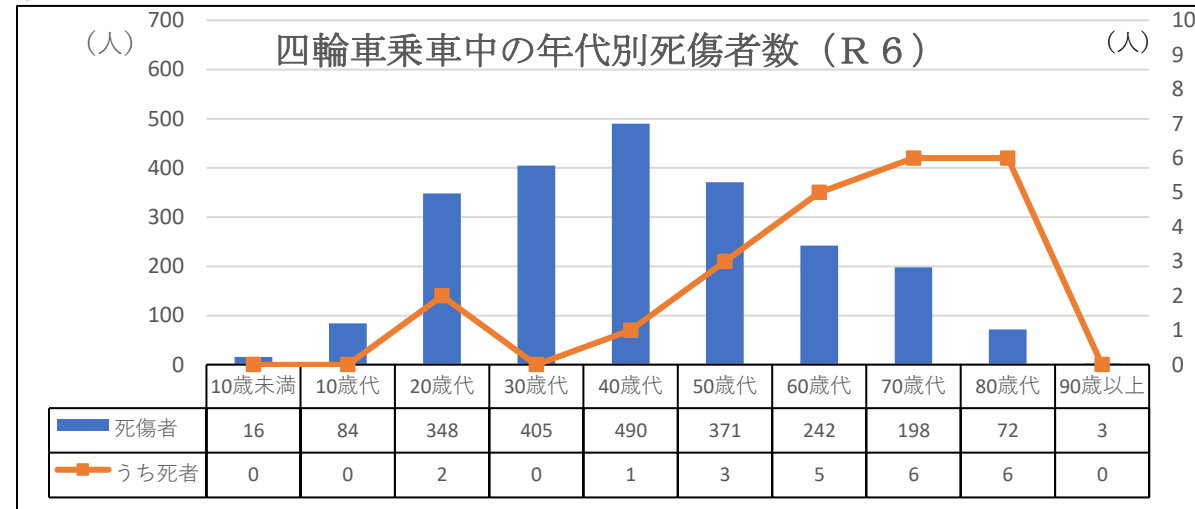
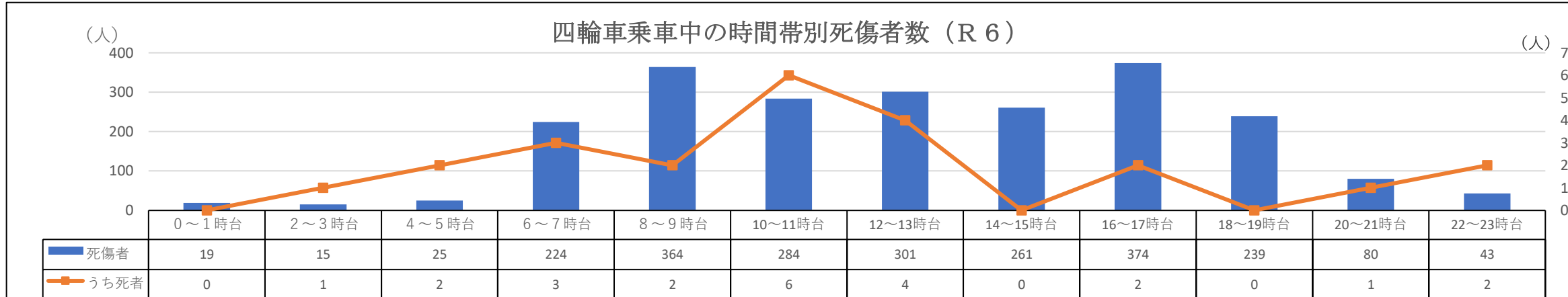


図3



3 二輪車乗車中の死傷者の状況について

- 死傷者数は前年より減少したものの、死者数は増加（図1）
- 当事者別の死傷者は、一般原付が最も多く、次いで原付二種が多い（図2）
- 年代別の死傷者は10歳代が最も多く、次いで20歳代が多い（図3）
- 時間帯別の死傷者は18～19時台が最も多く、次いで8～9時台が多い（図4）

図1

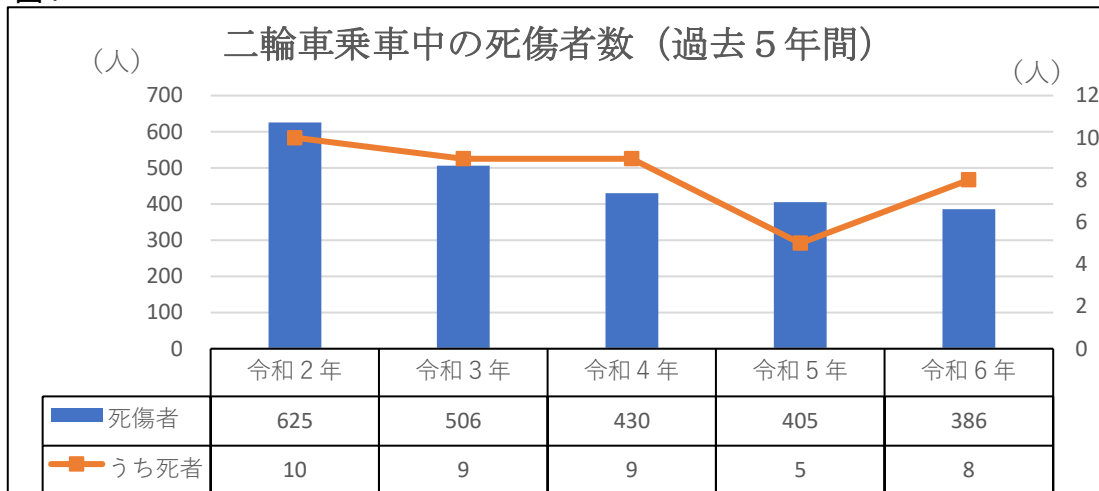


図2

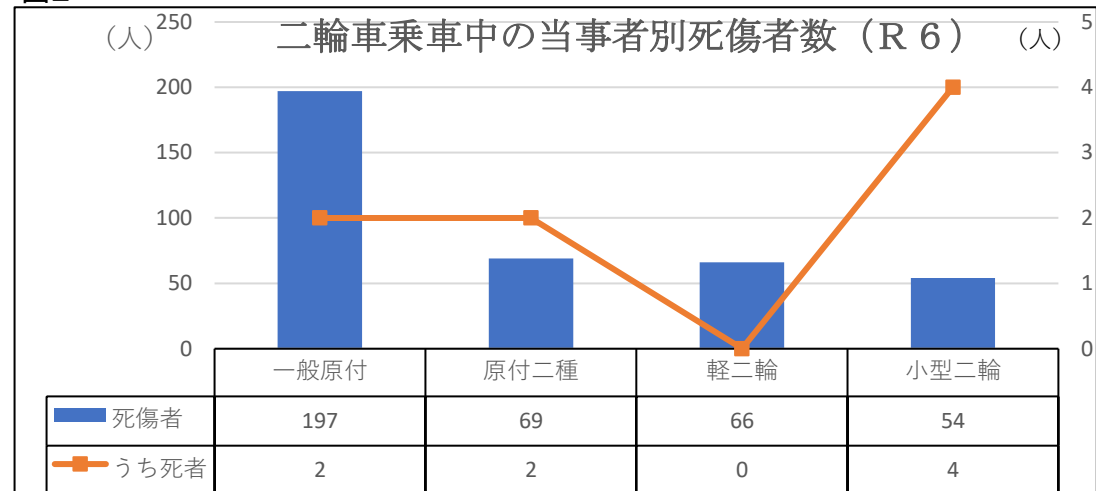


図3

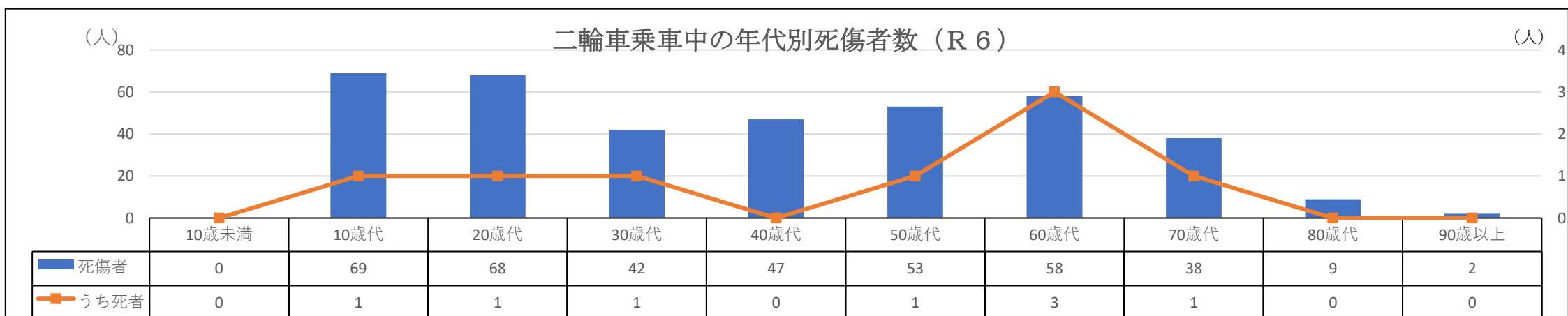
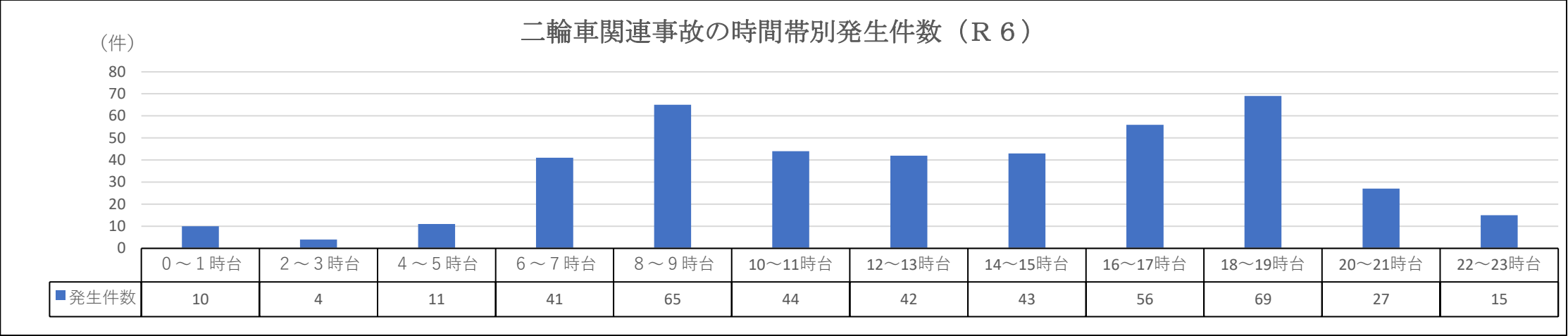


図4



4 自転車乗用中の死傷者の状況について

- 死者数、死傷者数ともに前年より減少（図1）
- 年代別の死傷者は**10歳代**が最も多く、次いで**20歳代**が多い（図2）
- 時間帯別の死傷者は**8～9時台**が最も多く、次いで**16～17時台**が多い（図3）

図1

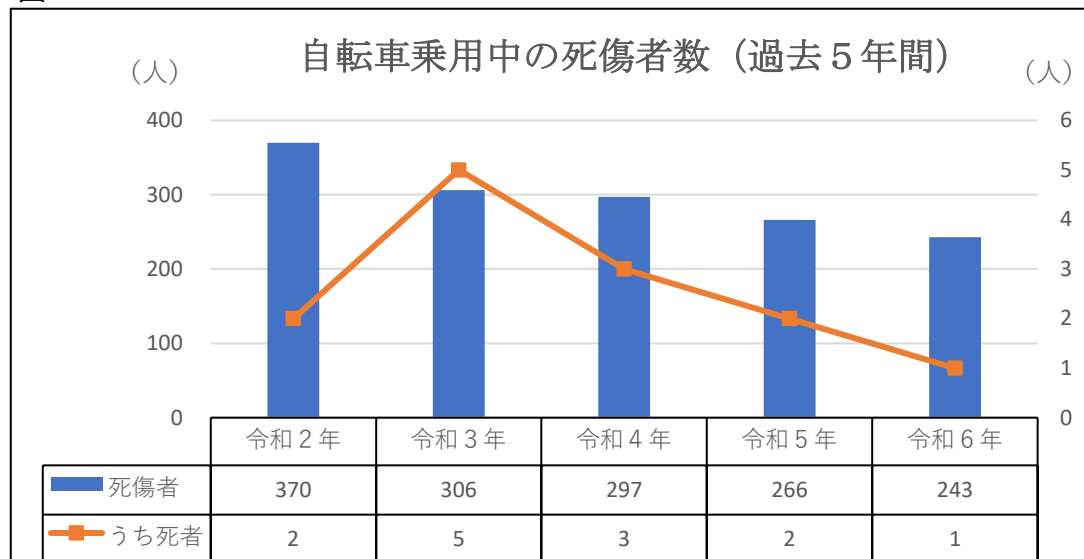


図2

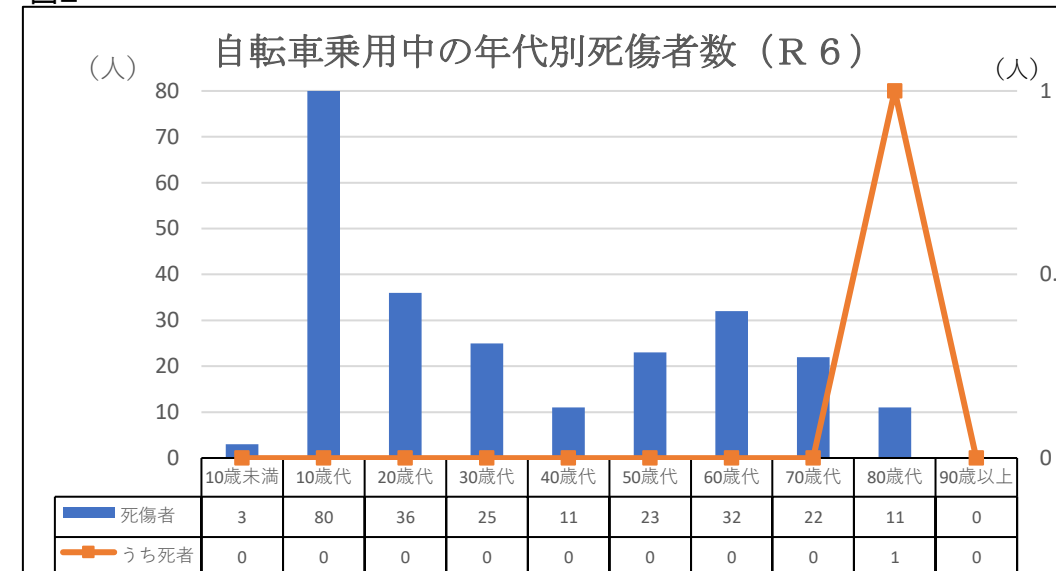
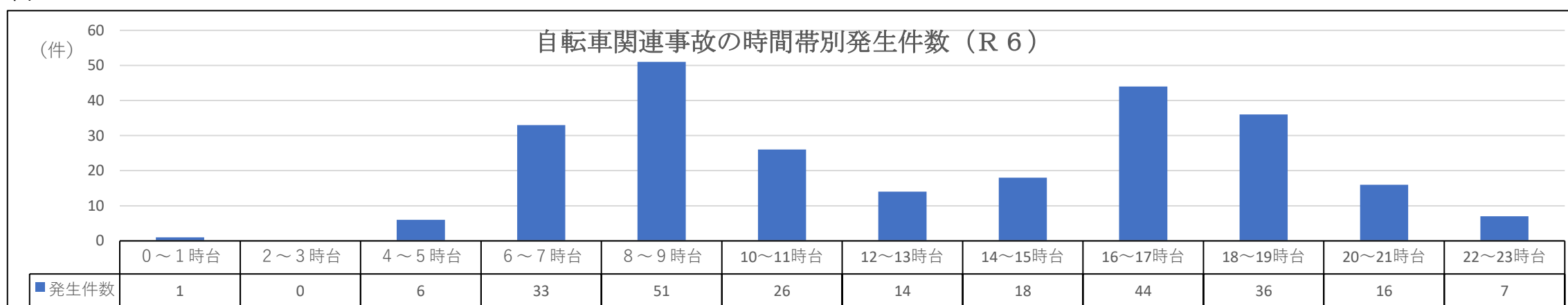


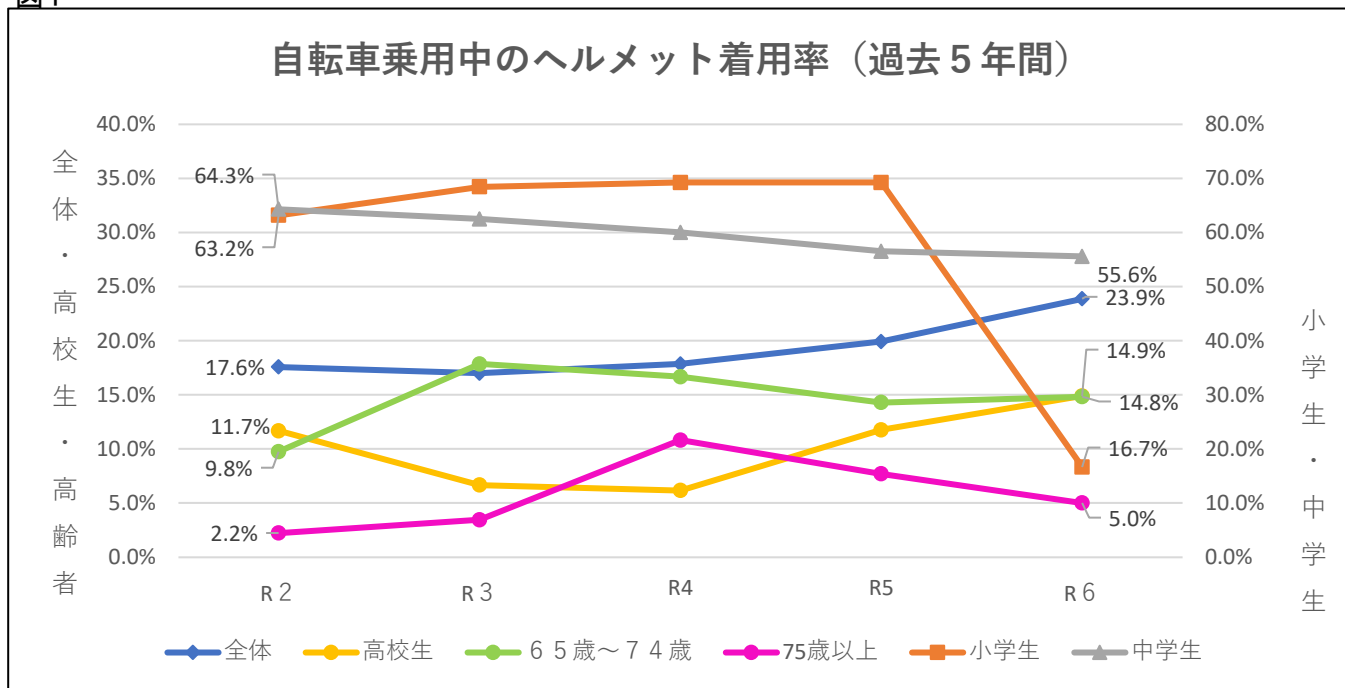
図3



4-1 自転車乗用中死傷者のヘルメット着用状況について

- 全体の着用率は23.9%で、前年より4.0%**上昇**（図1、表1）
- 小学生のヘルメット着用率は16.7%で、**前年より52.5%低下**（図1、表1）
- 中学生のヘルメット着用率は55.6%で、**前年より0.9%低下**（図1、表1）
- 高校生のヘルメット着用率は前年より14.9%で、**前年より3.1%上昇**（図1、表1）

図1



	全体	小学生	中学生	高校生	65歳～74歳	75歳以上
R2	17.6%	63.2%	64.3%	11.7%	9.8%	2.2%
R3	17.0%	68.4%	62.5%	6.7%	17.9%	3.4%
R4	17.8%	69.2%	60.0%	6.2%	16.7%	10.8%
R5	19.9%	69.2%	56.5%	11.8%	14.3%	7.7%
R6	23.9%	16.7%	55.6%	14.9%	14.8%	5.0%

※「着用不明」は「非着用」として集計した。

全体	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R2	370	65	17.6%
R3	306	52	17.0%
R4	297	53	17.8%
R5	266	53	19.9%
R6	243	58	23.9%

小学生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R2	19	12	63.2%
R3	19	13	68.4%
R4	13	9	69.2%
R5	13	9	69.2%
R6	6	1	16.7%

中学生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R2	28	18	64.3%
R3	24	15	62.5%
R4	20	12	60.0%
R5	23	13	56.5%
R6	18	10	55.6%

高校生	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R2	60	7	11.7%
R3	45	3	6.7%
R4	65	4	6.2%
R5	51	6	11.8%
R6	47	7	14.9%

65歳～74歳	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R2	41	4	9.8%
R3	28	5	17.9%
R4	24	4	16.7%
R5	21	3	14.3%
R6	27	4	14.8%

75歳以上	死傷者	ヘルメット着用	着用率
R2	45	1	2.2%
R3	29	1	3.4%
R4	37	4	10.8%
R5	26	2	7.7%
R6	20	1	5.0%

5 歩行中死傷者の状況について

- 死傷者数は前年より**減少**、死者数は**増加**（図1）
- 年代別の死傷者は、**60歳代が最も多く**、次いで**50歳代**が多い。（図2）
- 道路形状別の死傷者は、**交差点が最も多く**、路線別では**市町村道**が、時間帯別では**18～19時台が最も多い**。（図3、4、5）
- 夜間における致死率は、**昼間の約2.7倍**である。（図6）
- 横断方向別の死傷者は、**昼間は左から右が多く**、**夜間は右から左**が多い。（図9）

図1

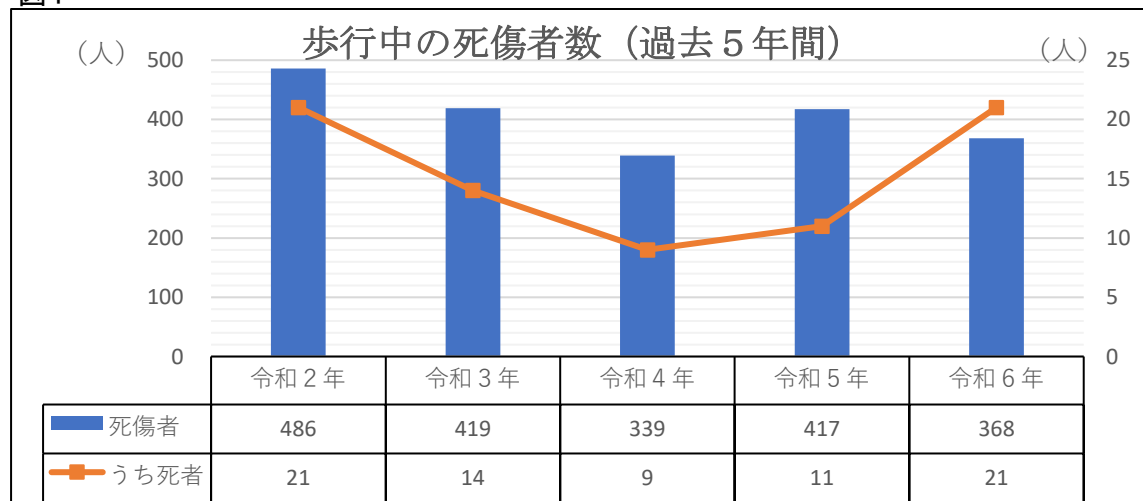


図2

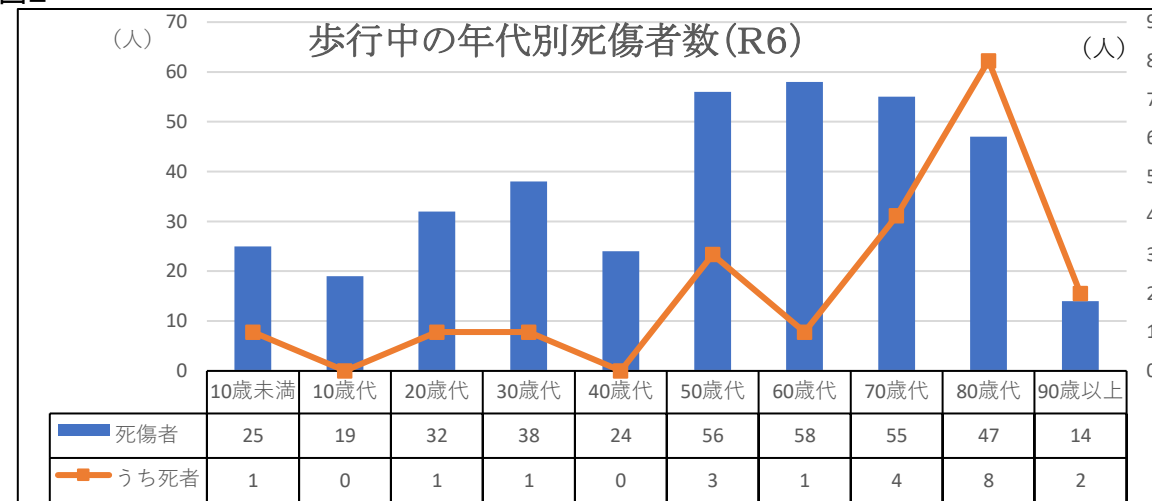


図3

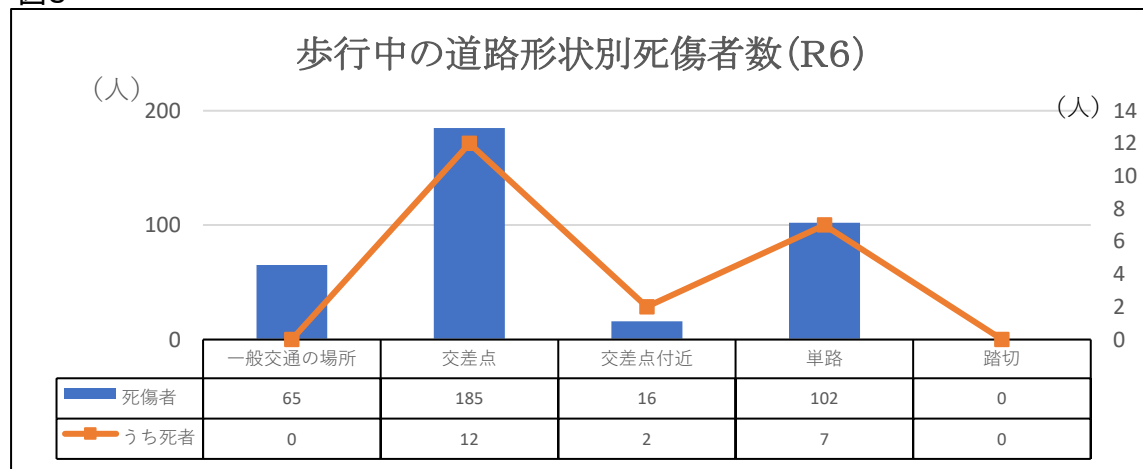


図4

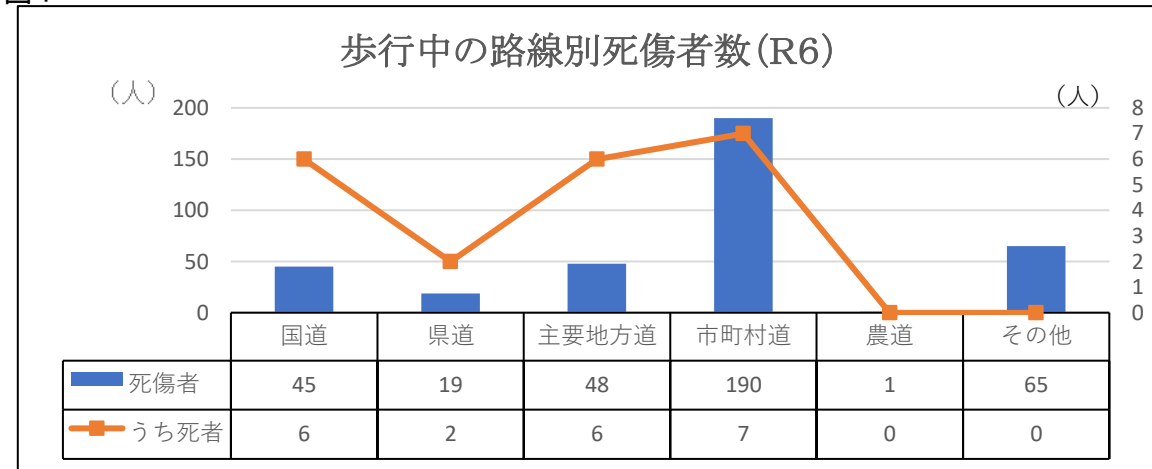


図5

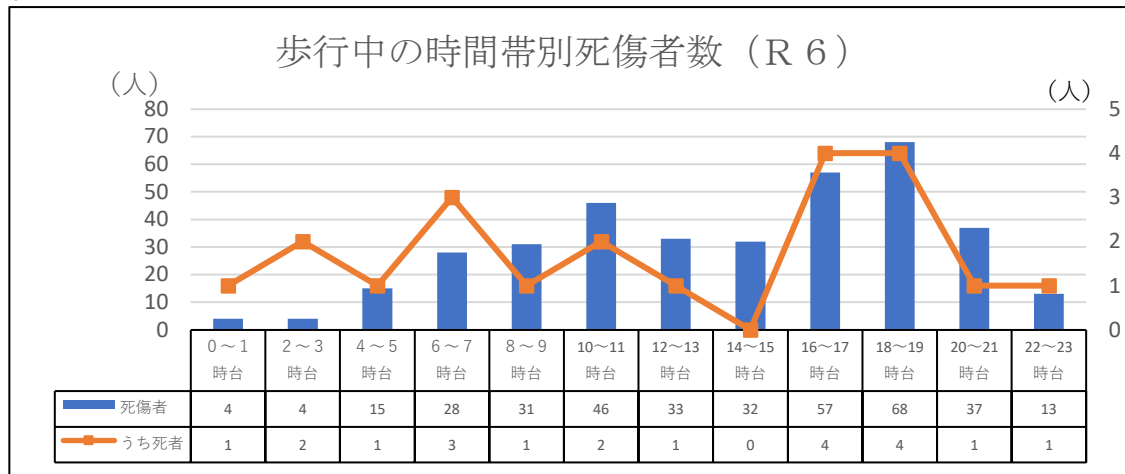


図6

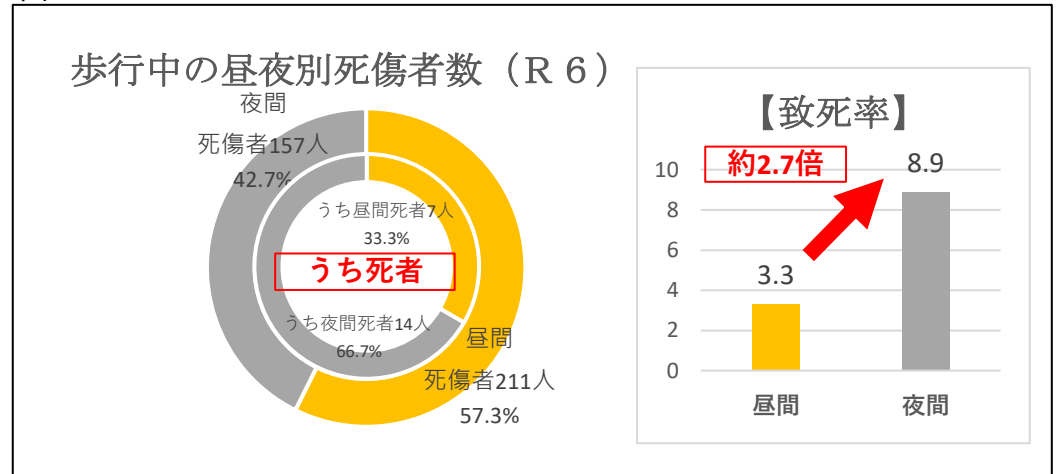


図7

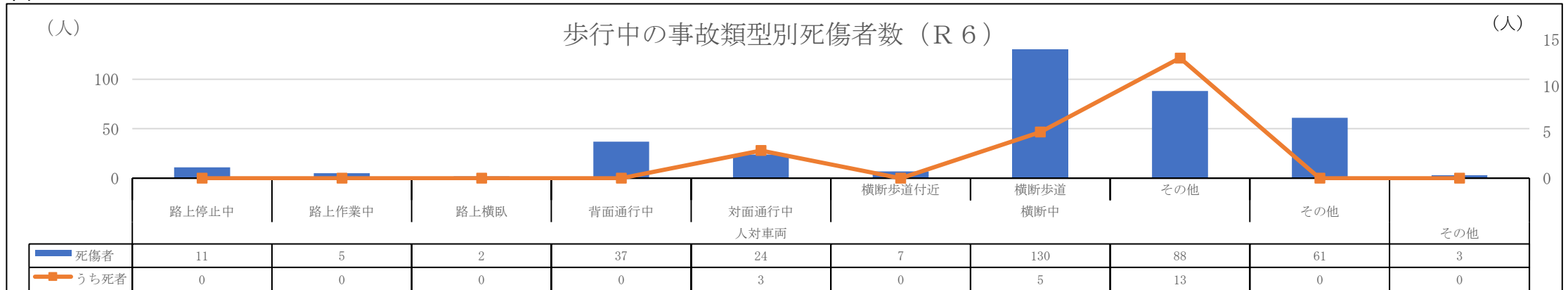


図8

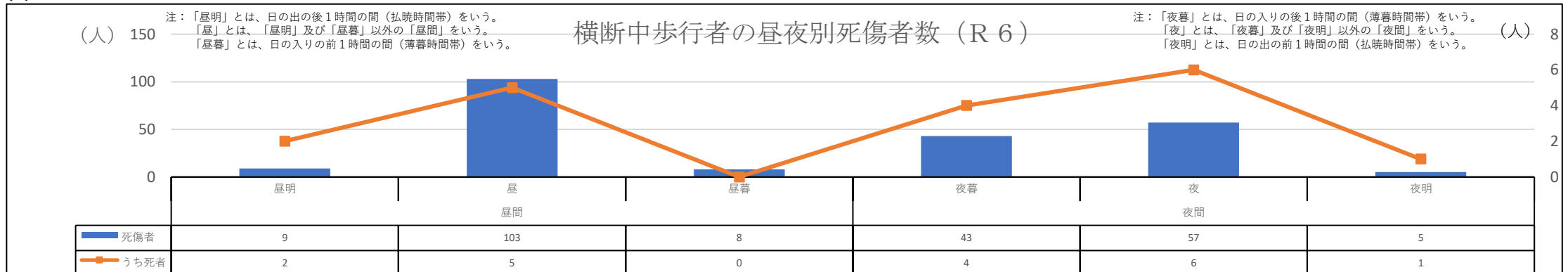


図9

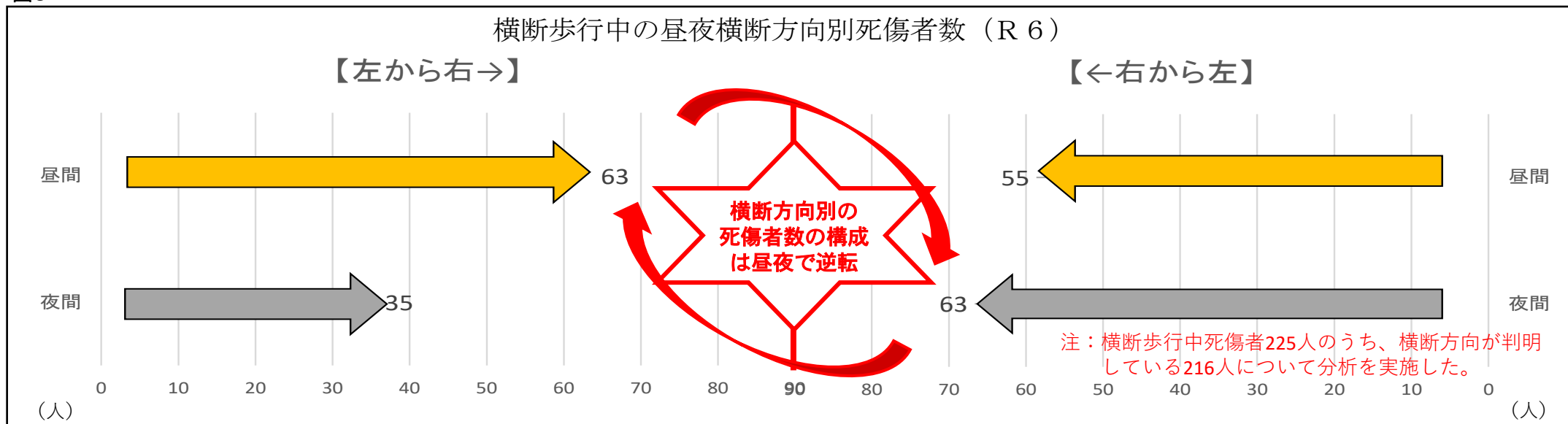
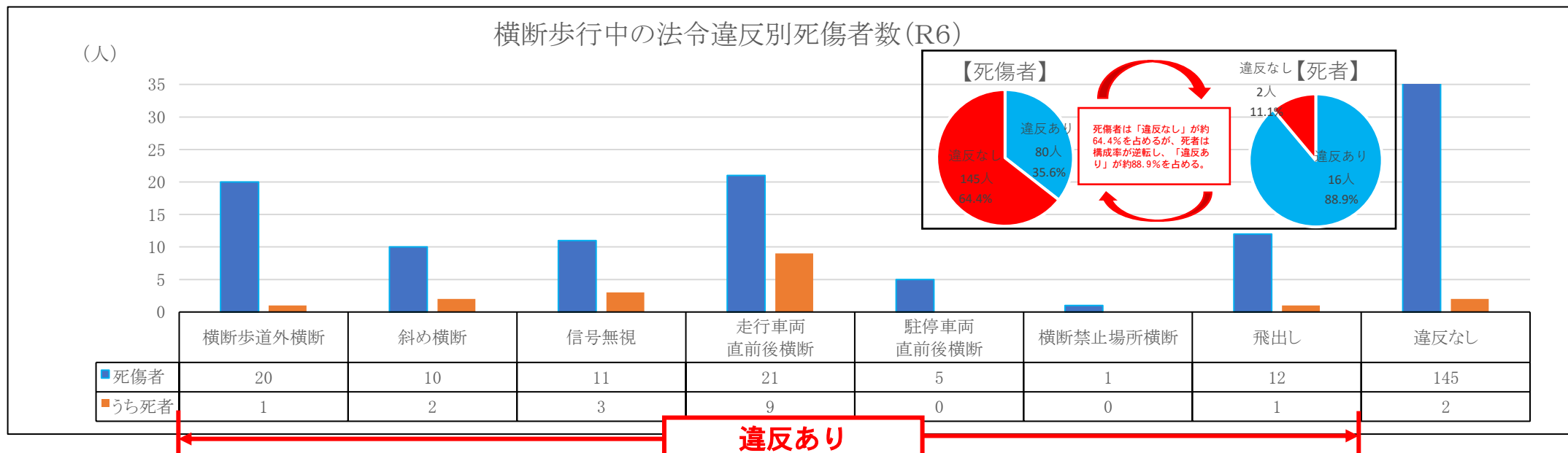


図10



5-1 歩行中死傷者の状況について（高齢者）

- 歩行中死者に占める高齢者の割合は前年より減少しているものの、依然として高水準（図1）
- 死傷者数は前年より僅かに減少したものの、死者数は増加（図2）
- 時間帯別の死傷者は、**18～19時台が最も多く、次いで16～17時台が多い**（図3）
- 事故類型別の死者は、横断歩行中が全体の約**69.8%**を占める。（図4）
- 横断方向別の死者は、**右から左が多い**（図5）

図1

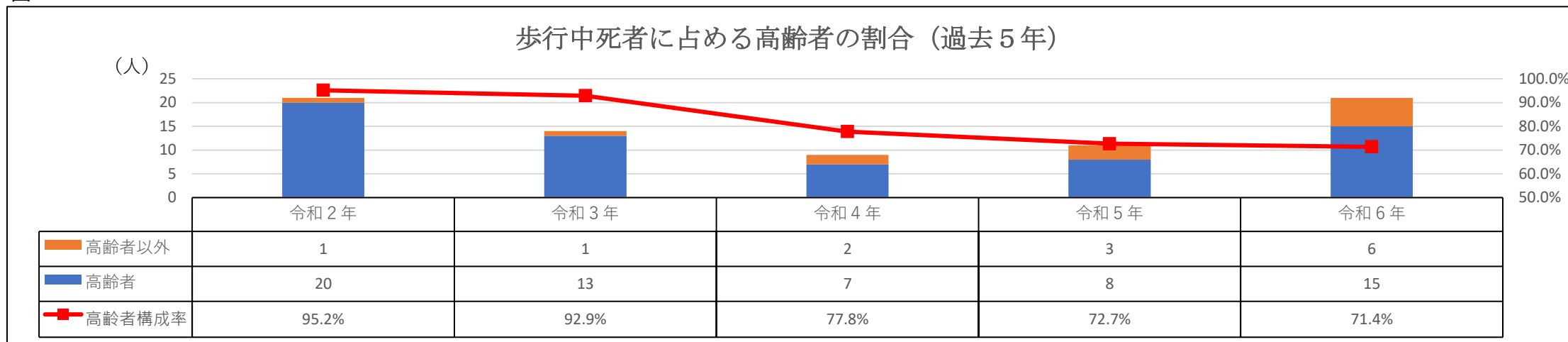


図2

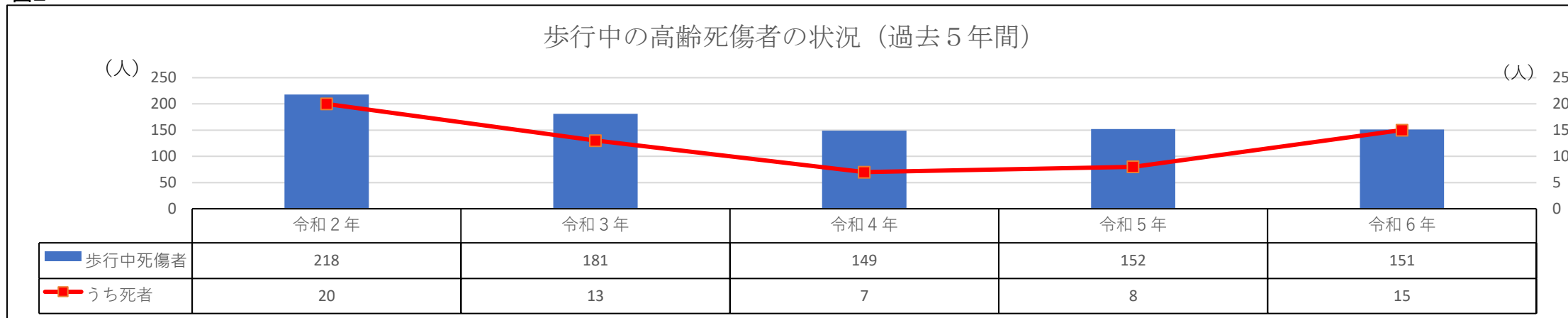


図3

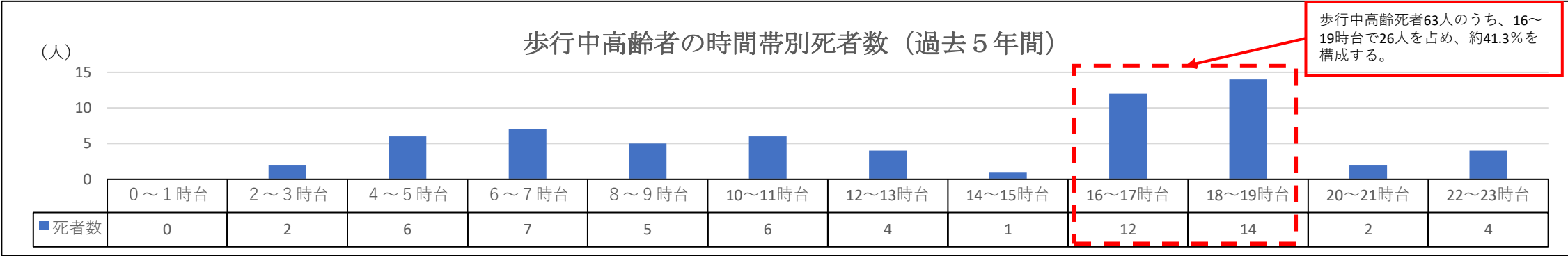


図4

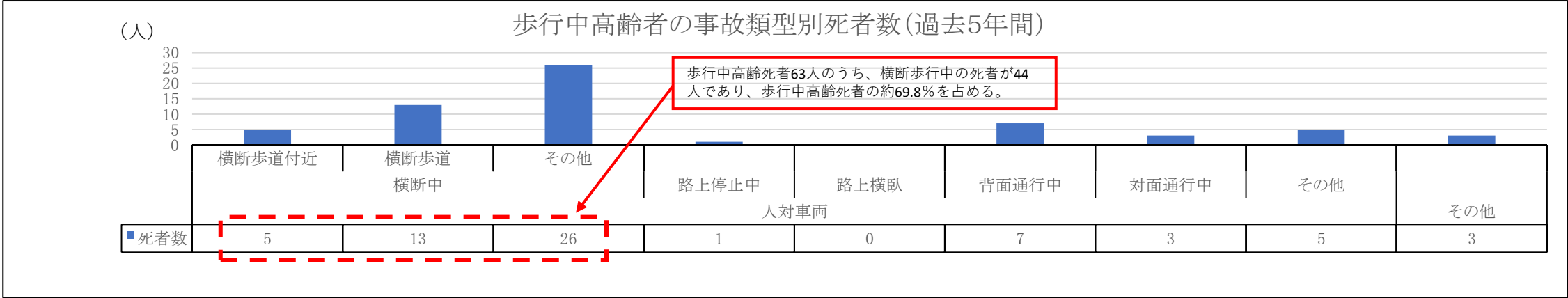
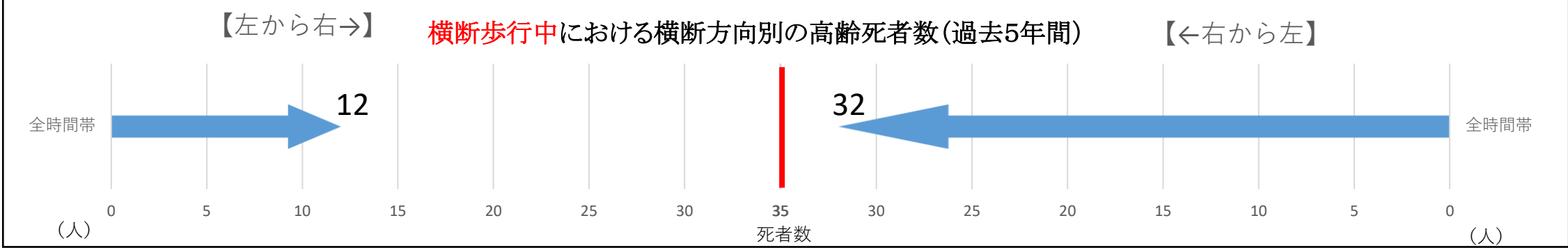


図5



注：歩行中高齢死者63人のうち、横断方向が判明している44人について分析を実施した。

6 こどもの事故の状況について

- 死傷者数は**減少**しているが、死者数は前年と同数（図1）
- 年代別の死傷者は、**小学生及び中学生が多い**（図2）
- 時間帯別の死傷者は、**16～17時台が最も多く、次いで6～7時台、8～9時台、14～15時台が多い**（図3）
- 状態別の死傷者は、**自動車・二輪車同乗中が最も多く、次いで歩行者等が多い**（図4）
- こどもの歩行中死傷者のうち、横断歩行中死傷者が約**78%**を占める（図8）
- こどもの横断歩行中死傷者の約半数は小学1～3年生が占める（図9） など

図1

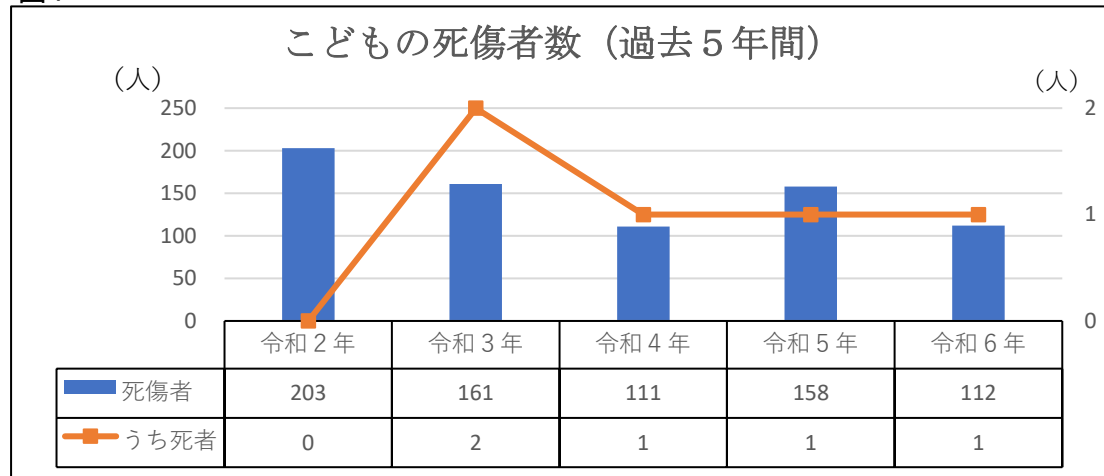


図2

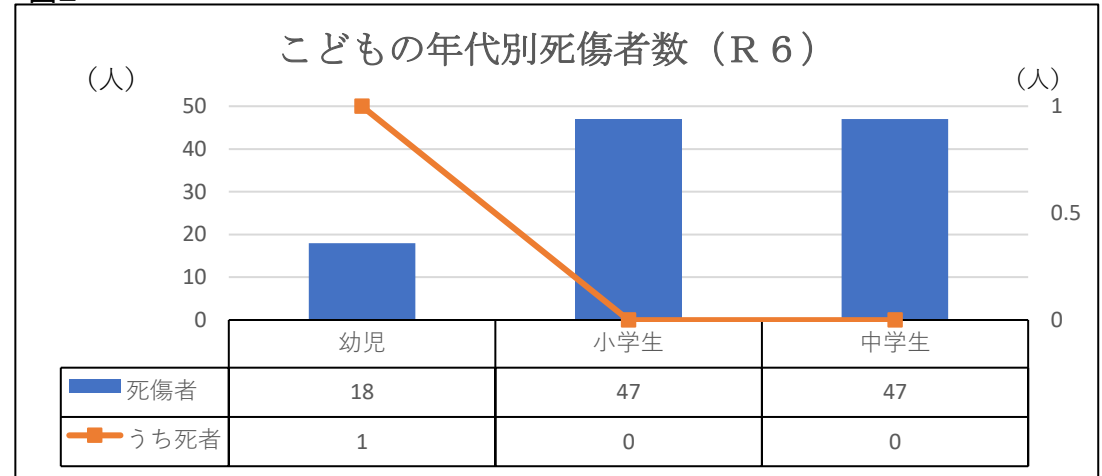


図3

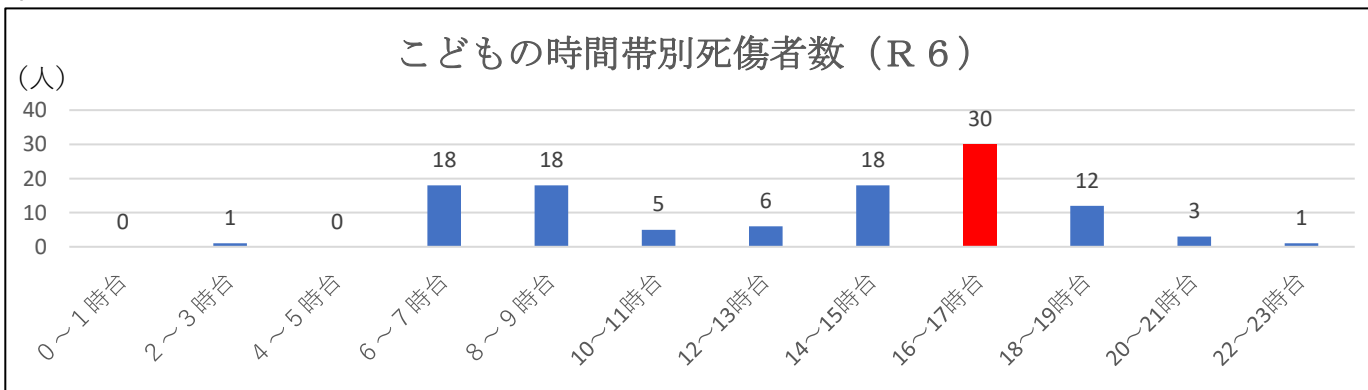


図4

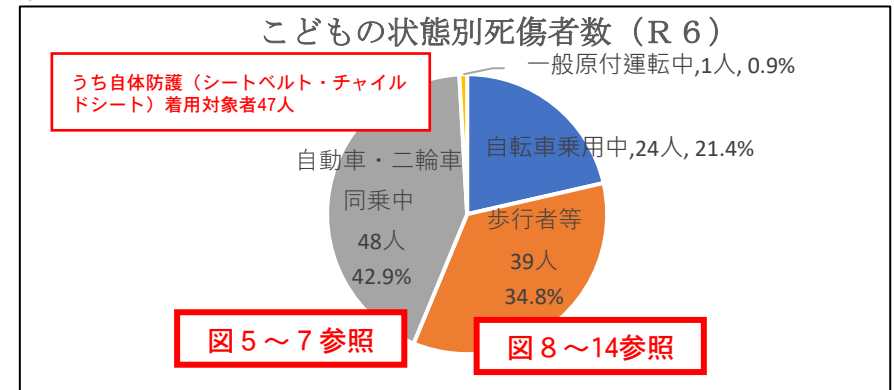


図5

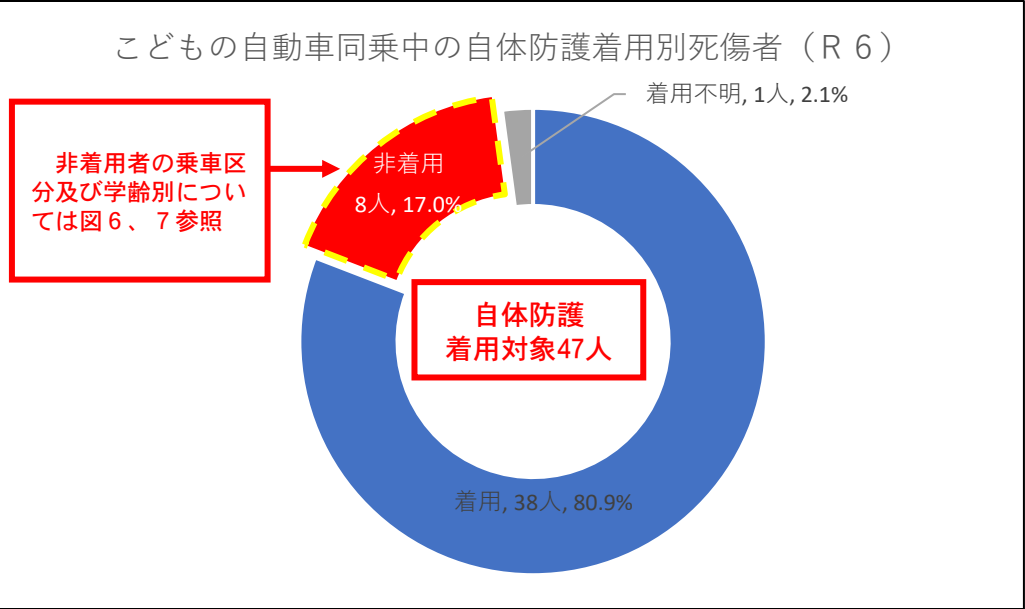


図6

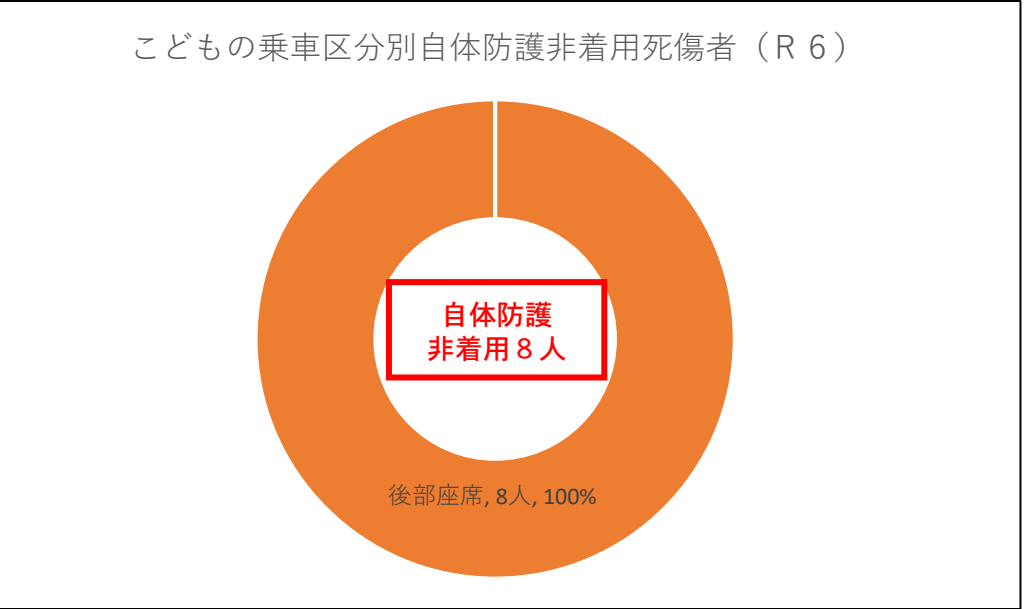


図7

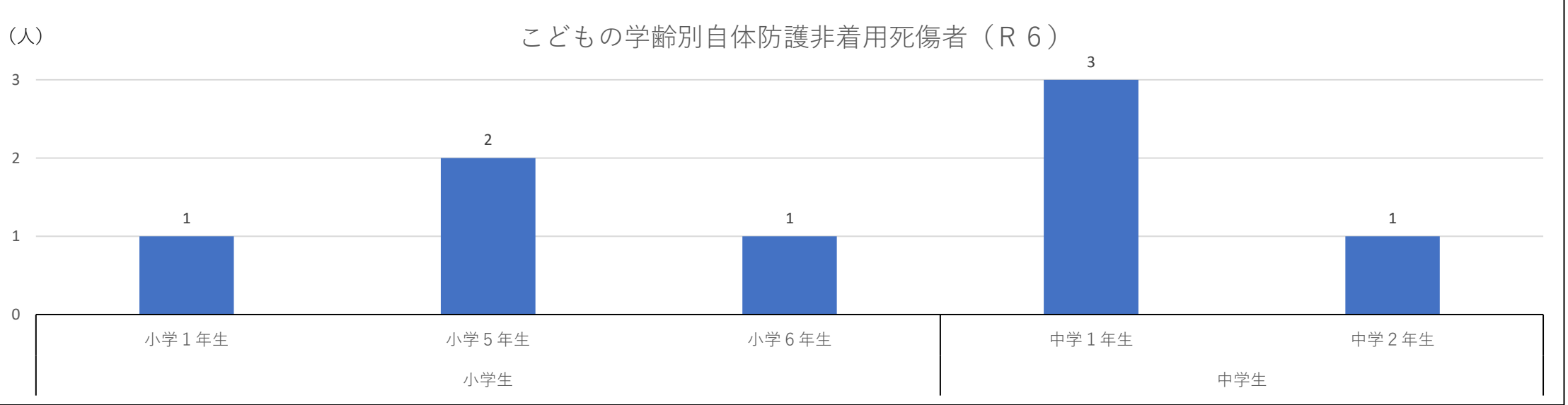


図8

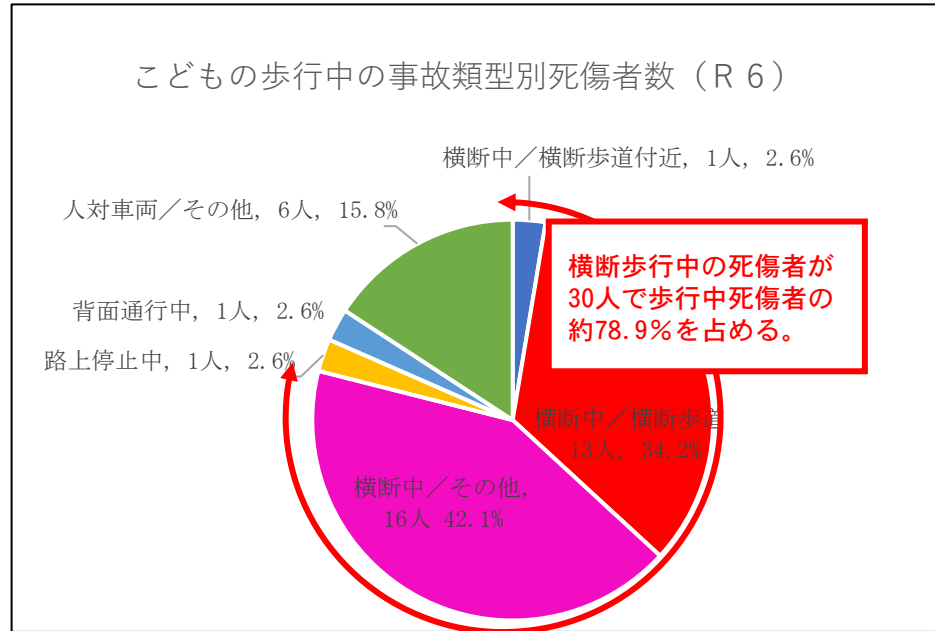


図9

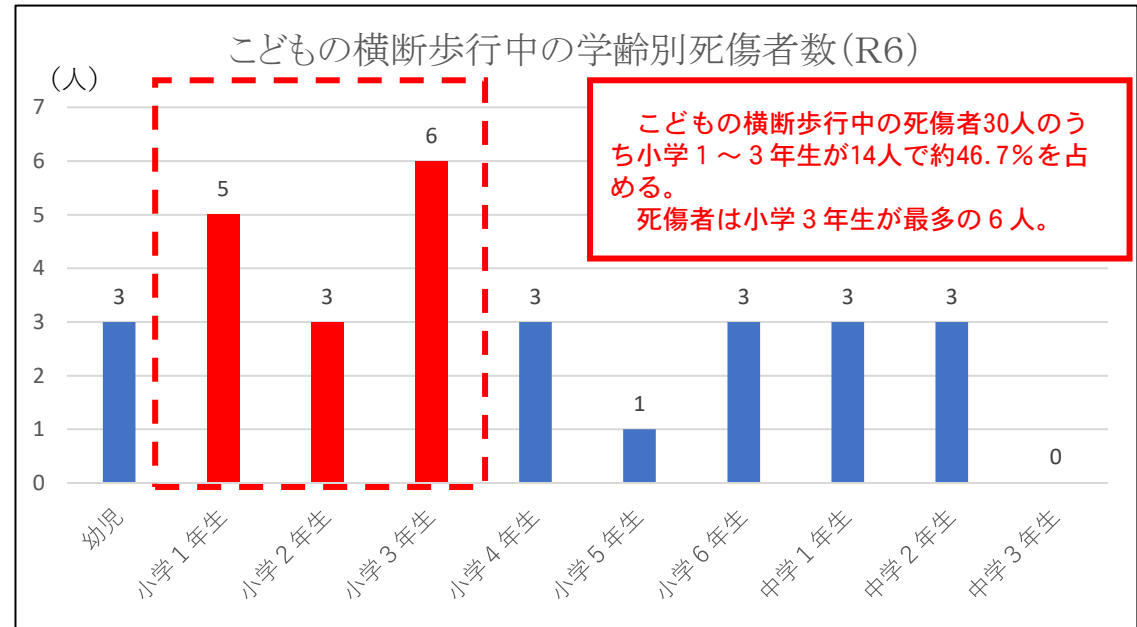


図10

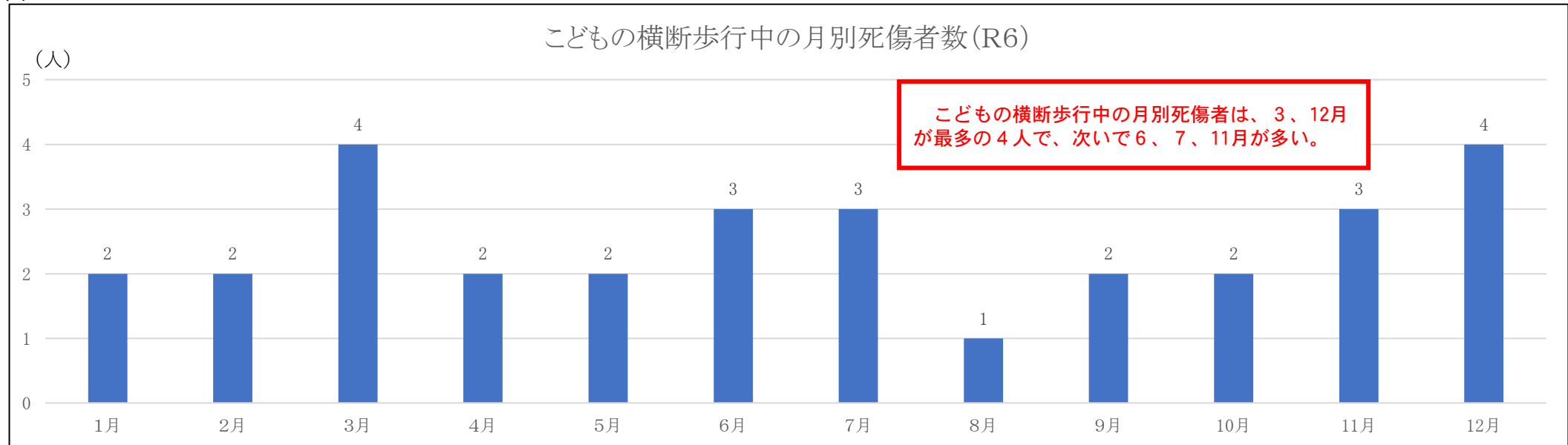


図11

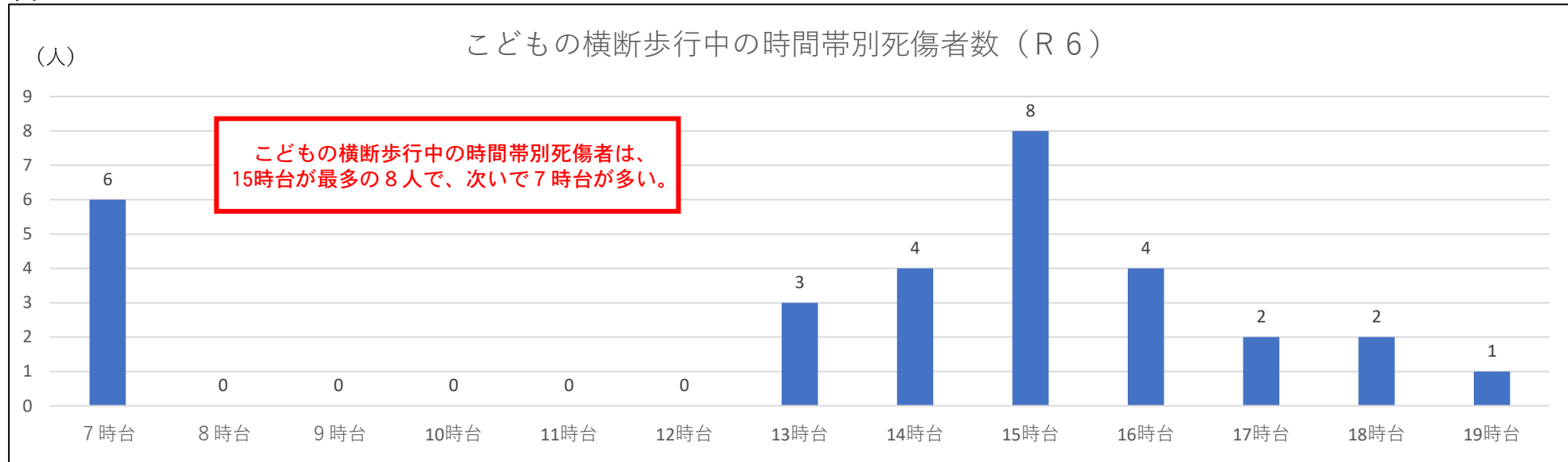


図12

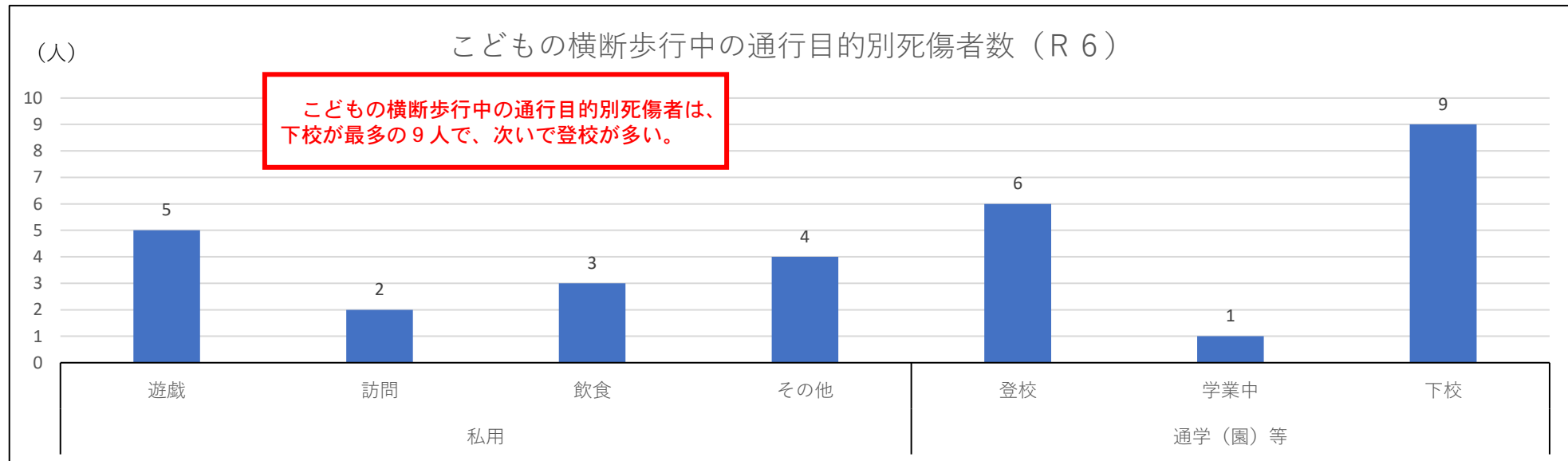


図13

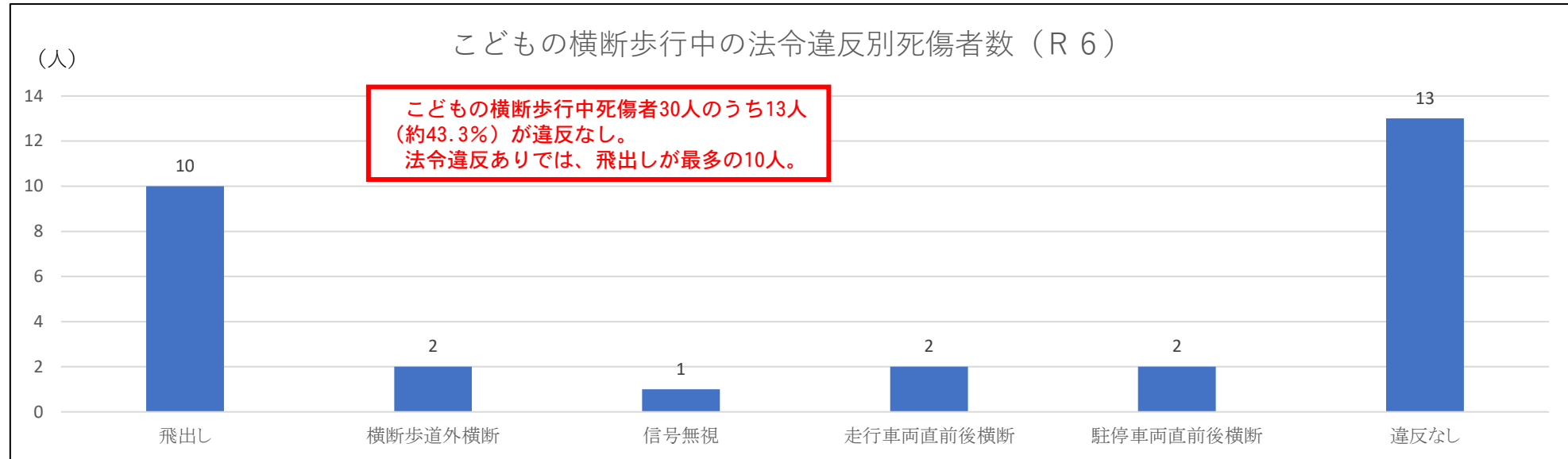
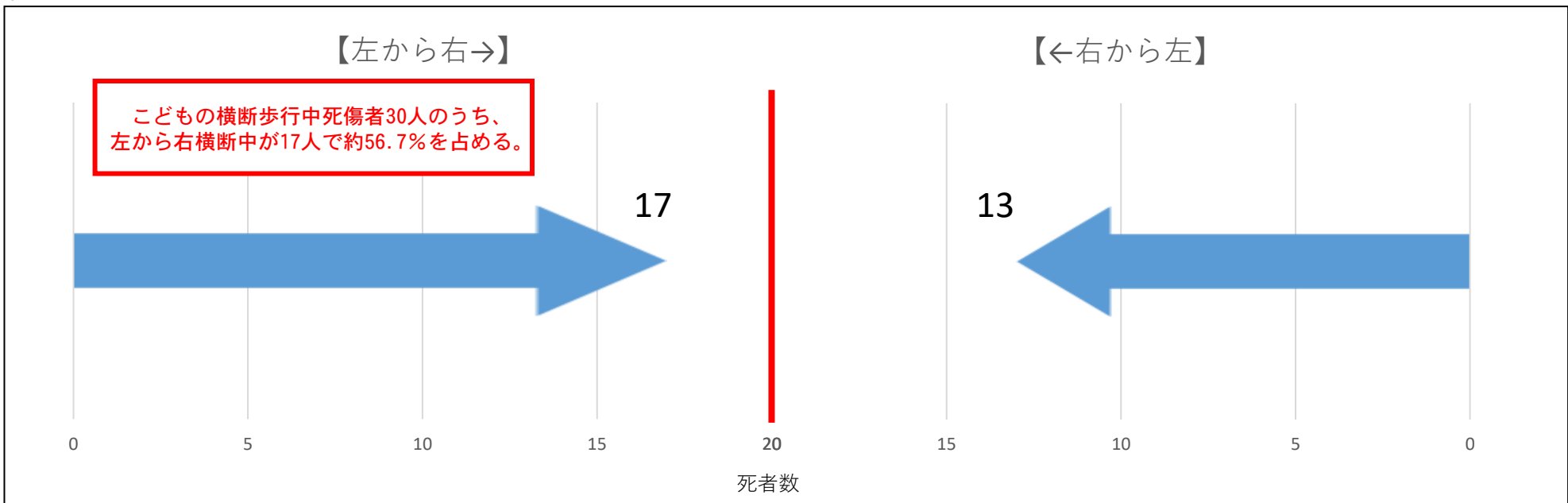


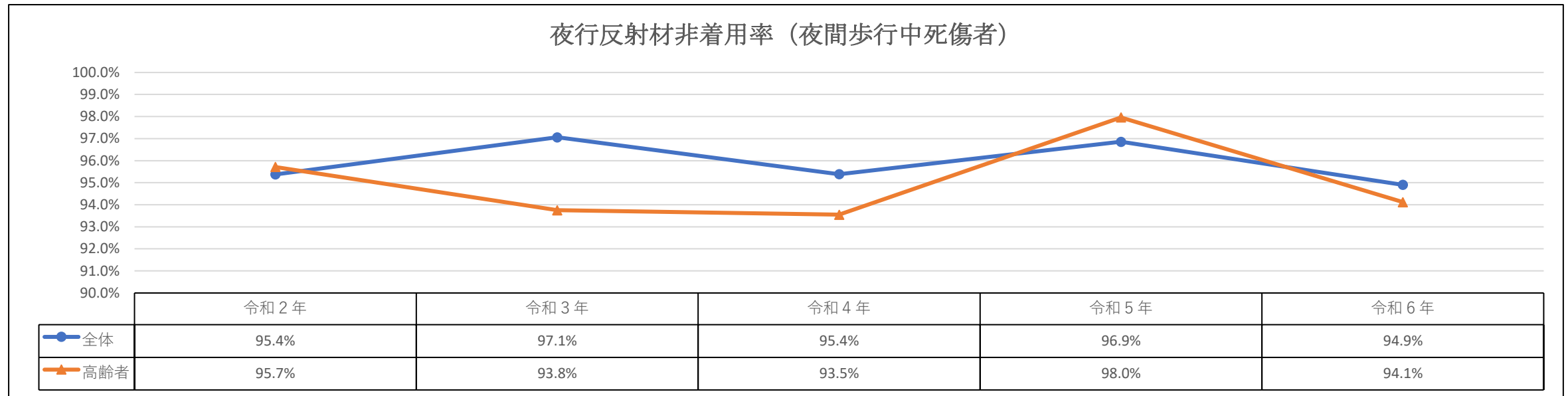
図14



7 反射材着用状況について

- 夜間歩行中の死傷者全体の約94.9%が反射材非着用（図1、表1）
- 全体、高齢者ともに非着用の割合は、前年に比べ減少（図1、表1、2）

図1



※調査不能は除く

表1 夜間歩行中死傷者(全体)

全体	死傷者総数	反射材あり	反射材なし	非着用率
R2	173	8	165	95.4%
R3	136	4	132	97.1%
R4	130	6	124	95.4%
R5	159	5	154	96.9%
R6	157	8	149	94.9%

表2 夜間歩行中死傷者(高齢者)

高齢者	死傷者総数	反射材あり	反射材なし	非着用率
R2	70	3	67	95.7%
R3	48	3	45	93.8%
R4	62	4	58	93.5%
R5	49	1	48	98.0%
R6	51	3	48	94.1%

8 後部座席シートベルトの着用状況について

- 死傷者に占める着用率は57.7%で前年より**上昇**（図1）
- 非着用時の致死率は1.26で、着用時（0.25）の**約5倍**（表1）
- 非着用時の死傷率は25.6で、着用時（17.0）の**約1.5倍**（表1）

図1

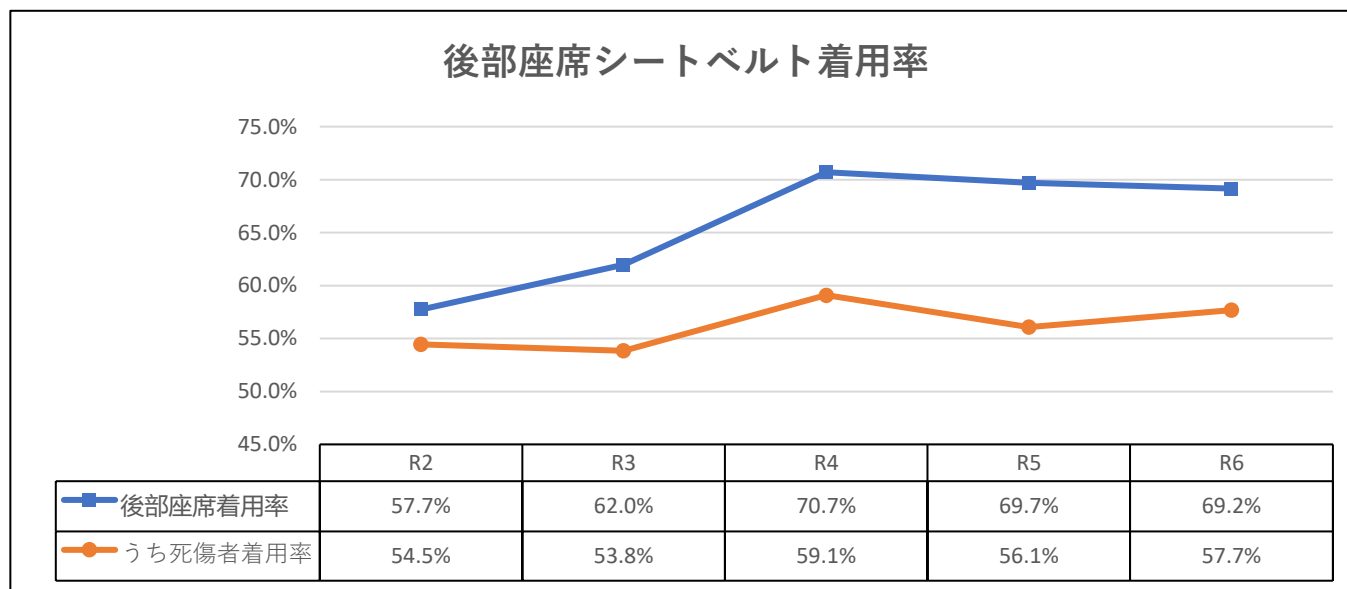


表1 シートベルト着用時及び非着用時の致死率・死傷率（過去5年）

着用	死亡	死傷者	致死率	非着用	死亡	死傷者	致死率
合計	1	402	0.25	合計	4	318	1.26
着用	死傷者	対象者	死傷率	非着用	死傷者	対象者	死傷率
合計	402	2360	17.0	合計	318	1243	25.6

約5倍

約1.5倍

表2 後部座席乗車中当事者のシートベルト着用状況

死傷者	着用	非着用
R2	110	92
R3	84	72
R4	65	45
R5	83	65
R6	60	44
合計	402	318

怪我なし	着用	非着用
R2	360	252
R3	372	208
R4	401	148
R5	414	151
R6	411	166
合計	1,958	925

死亡	着用	非着用
R2	0	1
R3	0	2
R4	0	0
R5	0	1
R6	1	0
合計	1	4

※着用不明は除く

9 携帯電話等使用に係る交通事故について

- 携帯電話等使用に係る事故件数は前年より増加（図1）
- 目的別では、画像目的使用が全事故の80.0%及び死亡事故の50.0%を占める（図2、図3）

図1

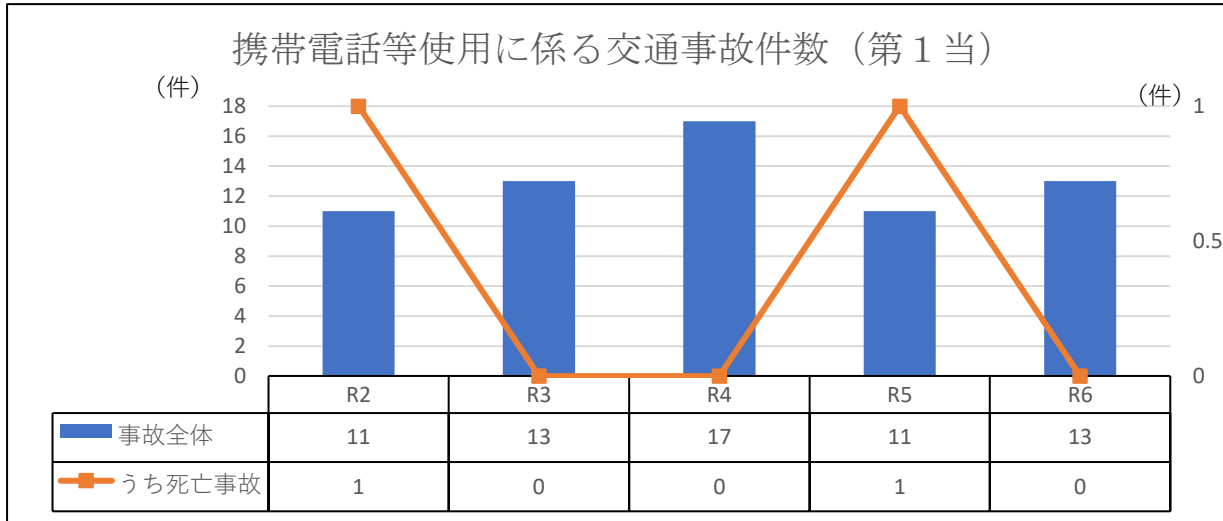


表1 目的別の事故件数

事故全体	R2	R3	R4	R5	R6
通話目的使用	1	0	0	0	1
画像目的使用	7	12	13	10	10
ハンズフリー使用	2	0	1	0	0
その他動作	1	1	3	1	2

死亡事故	R2	R3	R4	R5	R6
通話目的使用	0	0	0	0	0
画像目的使用	0	0	0	1	0
ハンズフリー使用	1	0	0	0	0
その他動作	0	0	0	0	0

図2

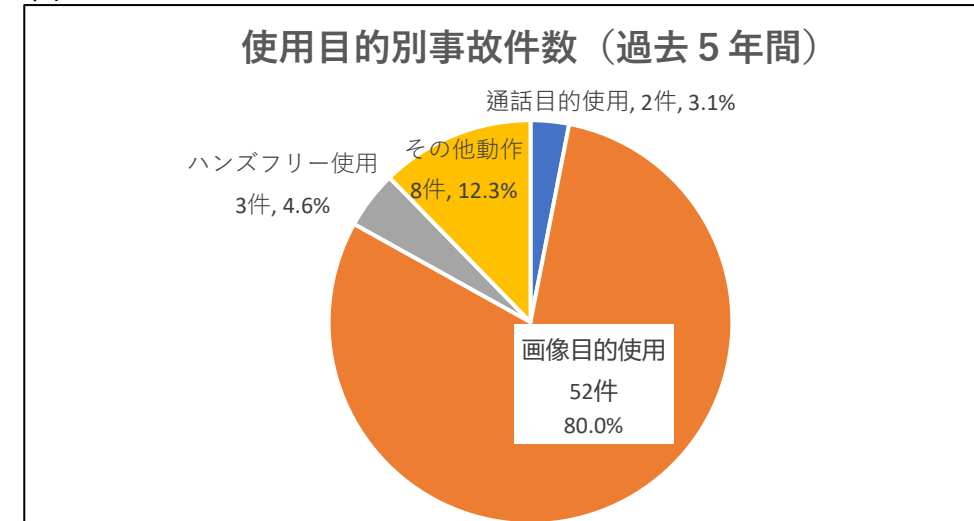
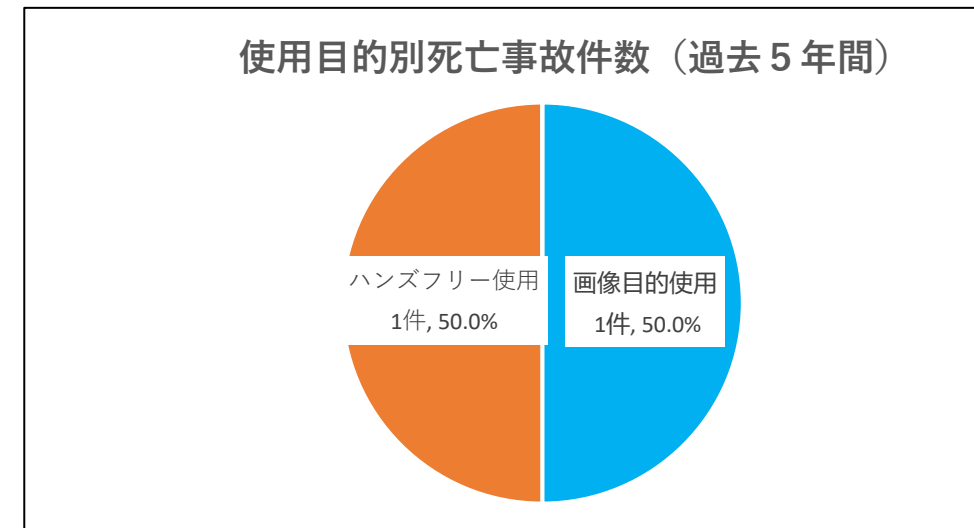


図3



10 高齢運転者事故（第1当一般原付以上）の状況について

- 年齢層別の第1当事故件数は、前年より75～79歳の年齢層で増加し、他の年齢層は減少した。（図1）
- 年齢層別の事故全体に占める構成率は、前年より70～74歳、75～79歳、80歳以上の年齢層で増加し、65～69歳の年齢層は減少した。（図2）
- 高齢運転者（第1当一般原付以上）による交通事故は19件で、交通事故全体の約36.5%を占める（図3）
- 高齢運転者（第1当一般原付以上）による交通事故の法令違反別では、過去5年間、令和6年ともに操作不適が最も多い（図4、5） など

図1

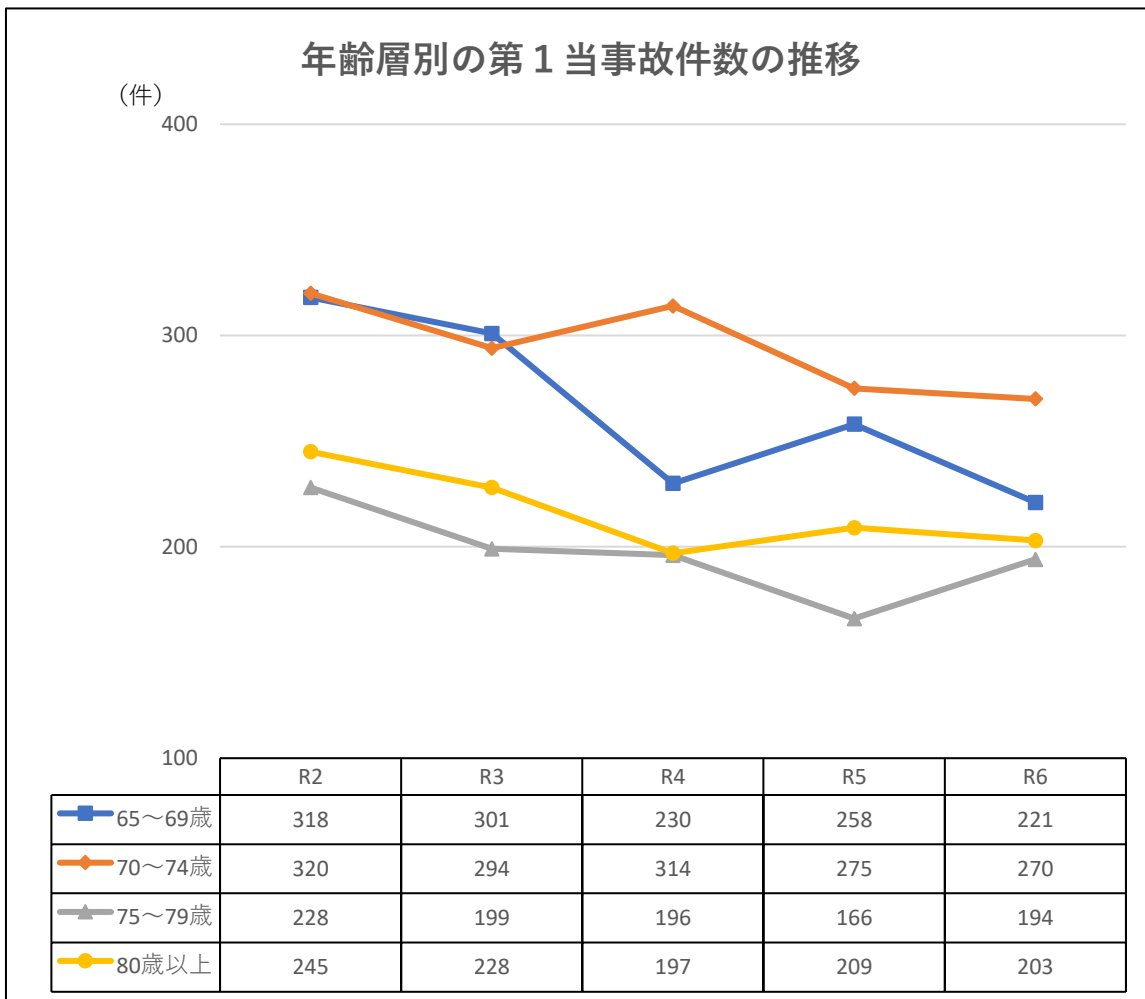


図2

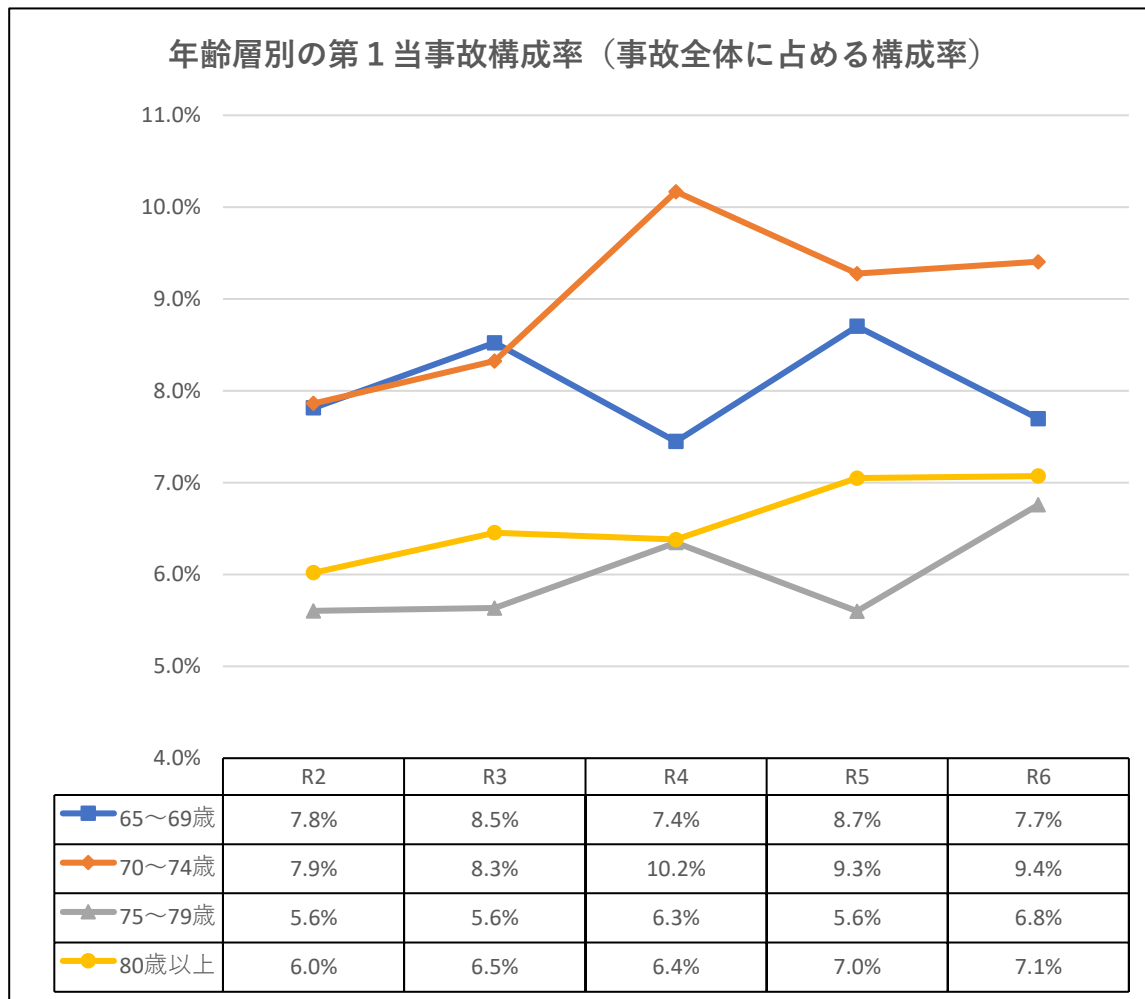


図3

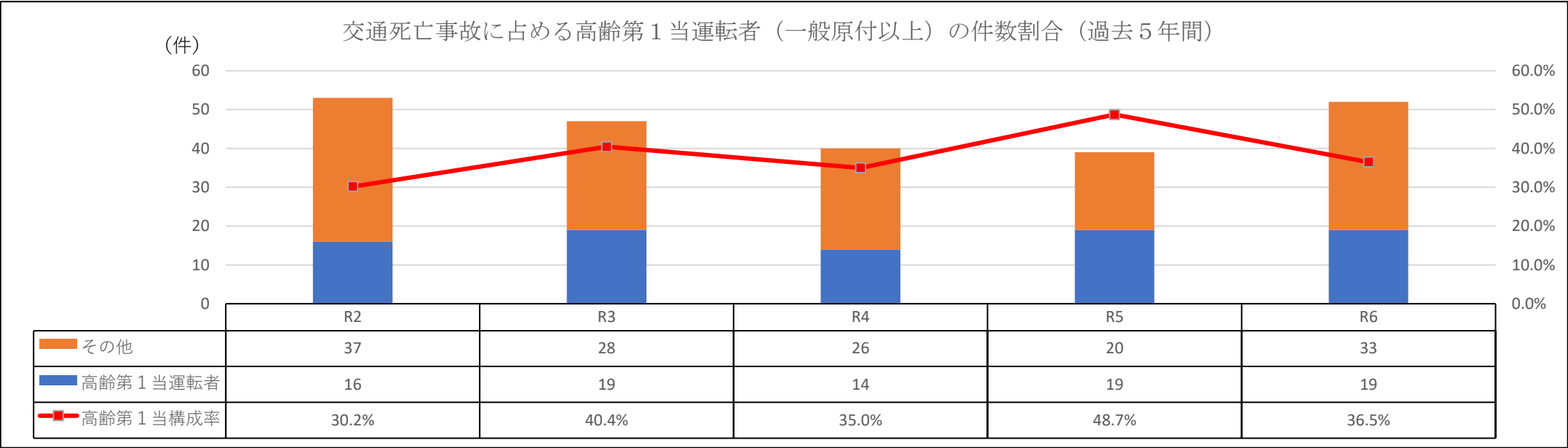


図4

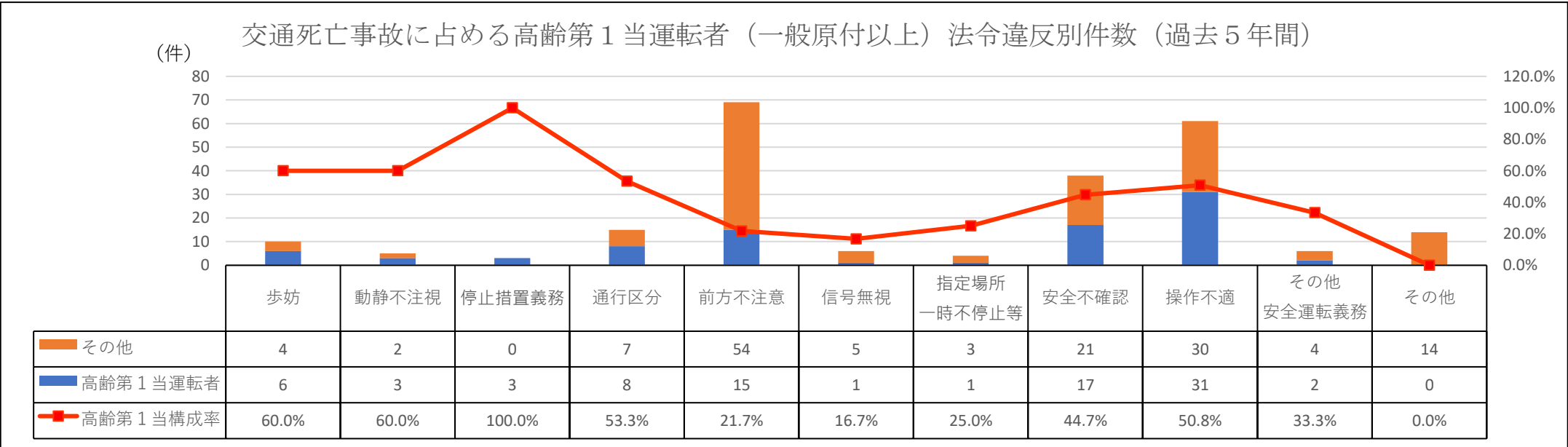


図5

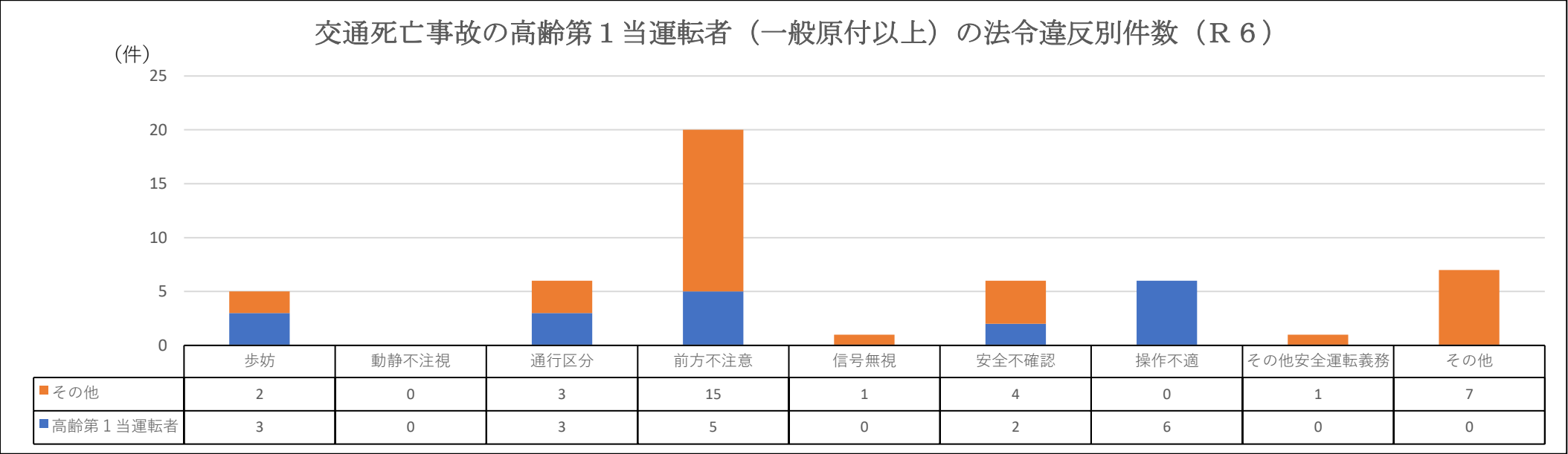


図6

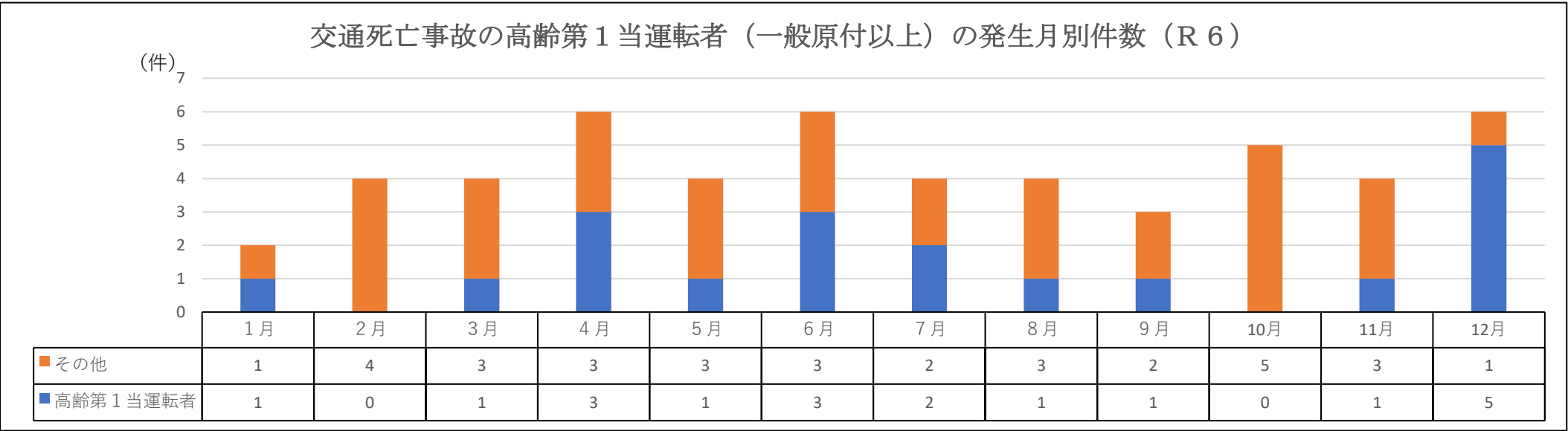


図7

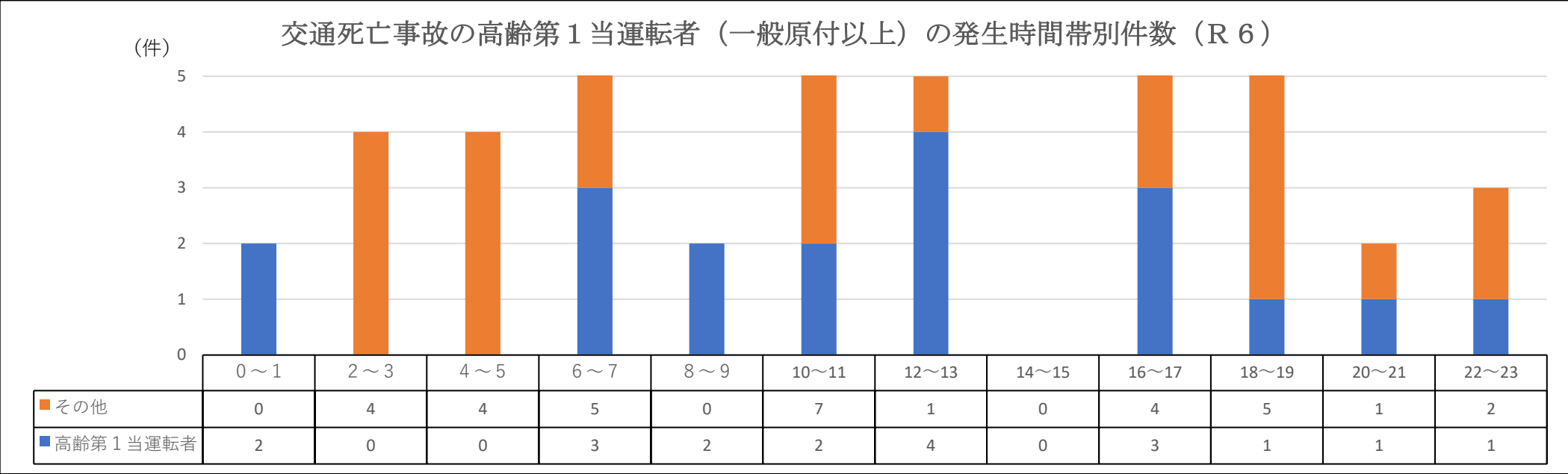
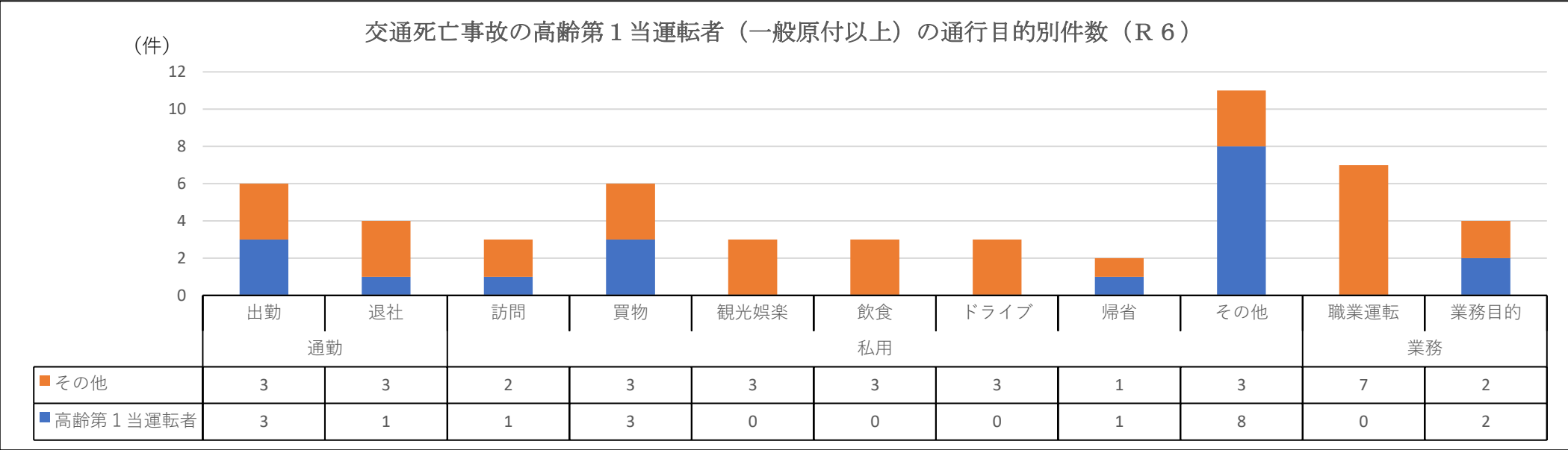


図8



11 飲酒運転事故（第1当一般原付以上）の状況について

- 発生件数、死者数ともに前年より増加（図1）
- 発生曜日は日曜日が最も多く、次いで月、金曜日が多い（図2）
- 発生時間帯は6～7時台が最も多く、次いで8～9時台が多い（図3）
- 車種別では普乗が最も多く、次いで軽四乗が多い（図4）

図1

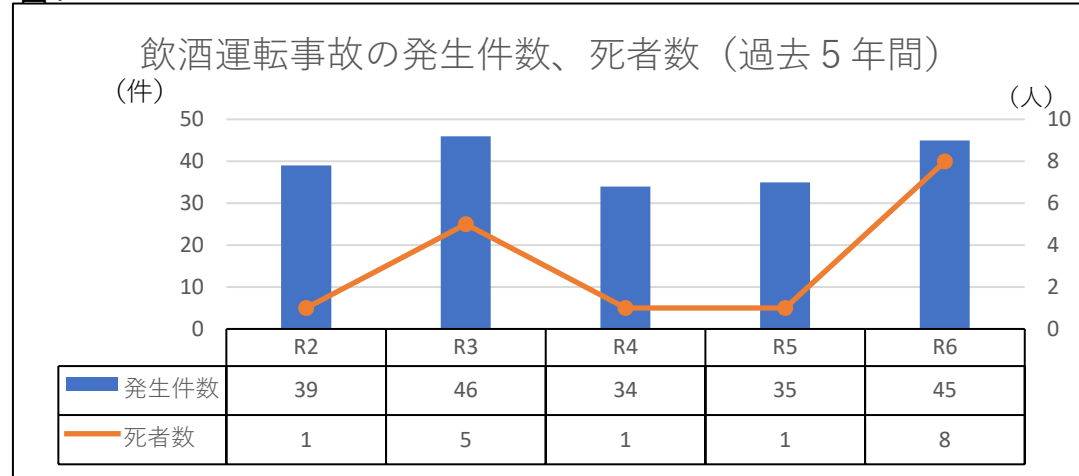


図2

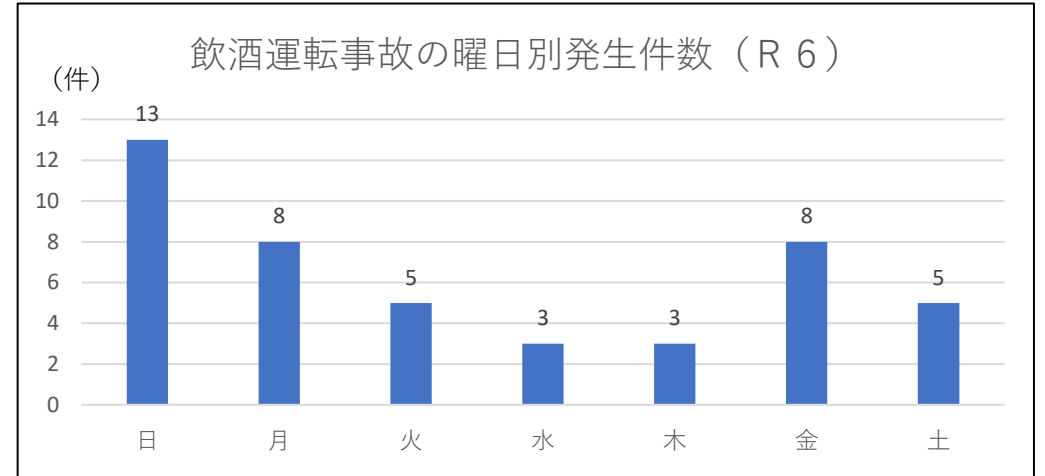


図3

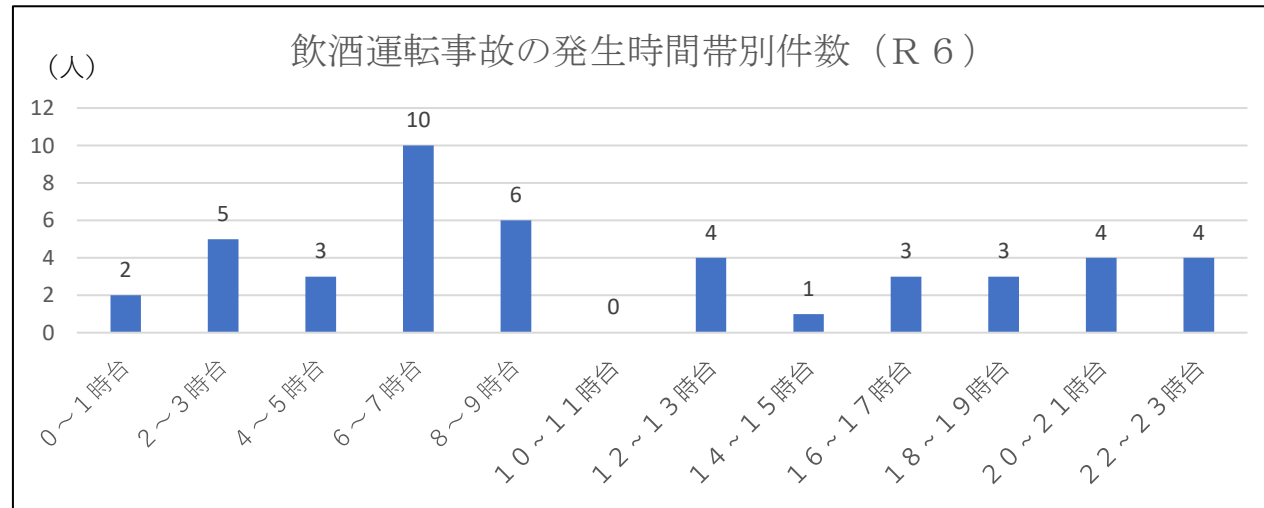


図4

